

旭化成の成長戦略

新中期経営計画(2011~2015)

“For Tomorrow 2015”

2011年9月7日

旭化成株式会社

IR室

証券コード:3407

1. 旭化成とは 3-13
2. 新中期経営計画“For Tomorrow 2015”
の全体像 14-18
3. 新中期経営計画“For Tomorrow 2015”
の事業戦略 19-29
4. 旭化成の目指す姿と株主還元の考え方 30-33

予想・見通しに関する注意事項：当資料に記載されている予想・見通しは、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

1. 旭化成とは

住宅とLSIを持つ総合化学メーカー

4つの事業領域、9つの事業会社

[事業会社]

ケミカル・繊維 事業領域

旭化成ケミカルズ

旭化成せんい

エレクトロニクス 事業領域

旭化成エレクトロニクス

旭化成イーマテリアルズ

旭化成

[持株会社]

住宅・建材 事業領域

旭化成ホームズ

旭化成建材

医薬・医療 事業領域

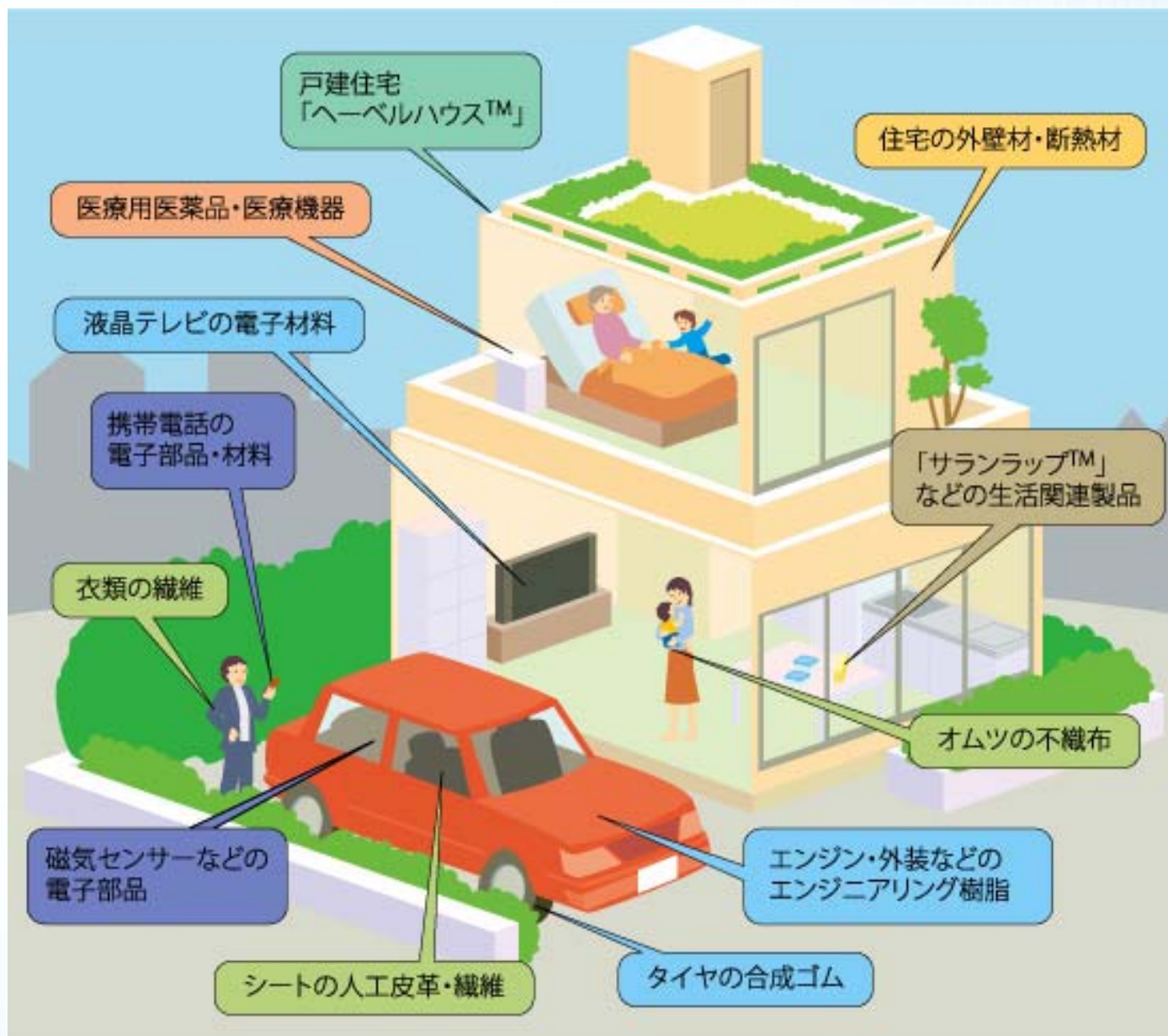
旭化成ファーマ

旭化成クラレメディカル

旭化成メディカル



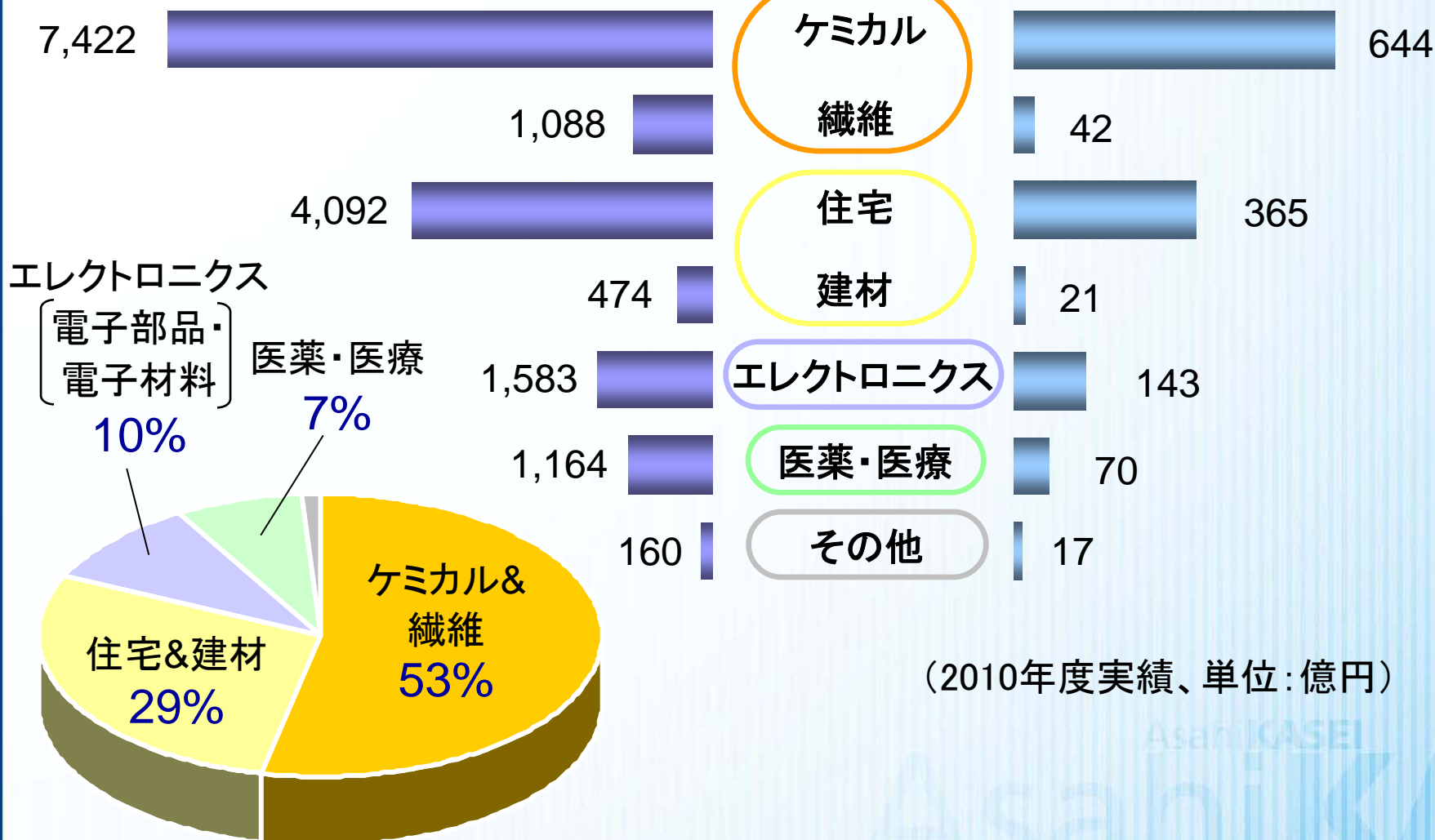
くらしの中の旭化成



セグメント別売上高、営業利益

売上高 1兆5,984億円

営業利益 1,229億円



(2010年度実績、単位:億円)

[領域別売上高比率]

「人類文化の向上と吾社の使命」

吾々工業家は飽までも大衆文化の向上を念として、
最善の生活資料を最低廉価に然も豊富に給する
ことを以って究局の目的としなければならぬ。

昭和8年7月 野口^{したがう}遵社長

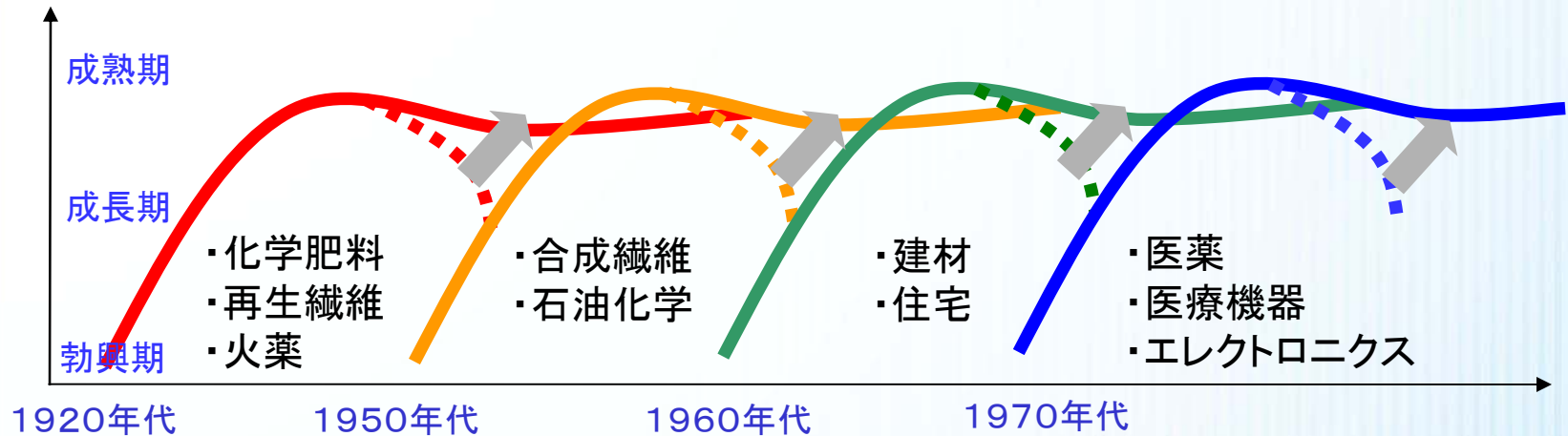


グループ理念

私たち旭化成グループは、
世界の人びとの
“いのち”と“くらし”に貢献します。

時代の要請に応える事業展開

時代の要請に対する解決策を提示しながら事業を展開



時代の要請

生活の基盤確立

生活物資の充足

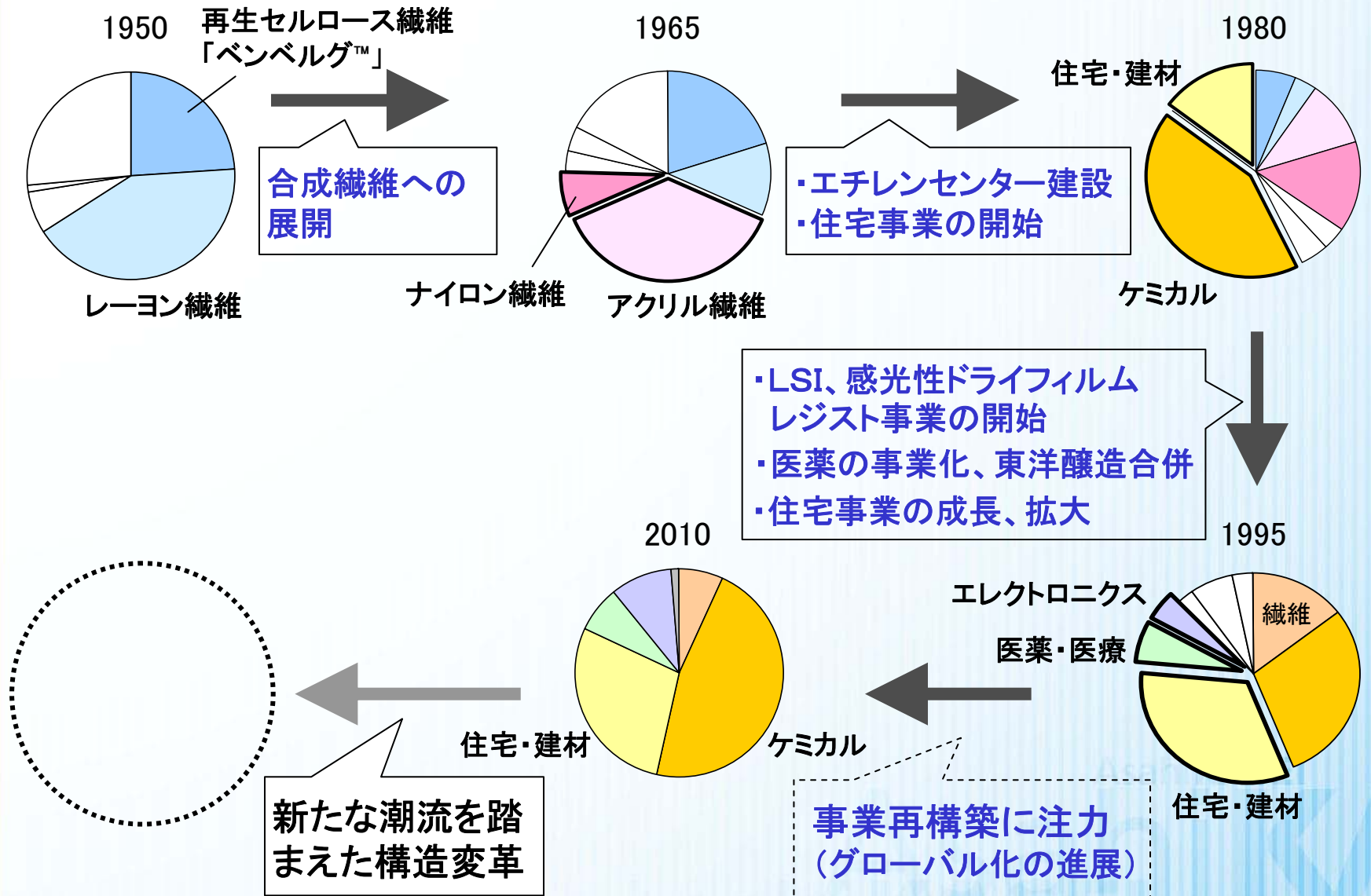
住生活の質の向上
社会資本整備

便利で快適な生活

大量消費社会・化石燃料文明・高度成長期

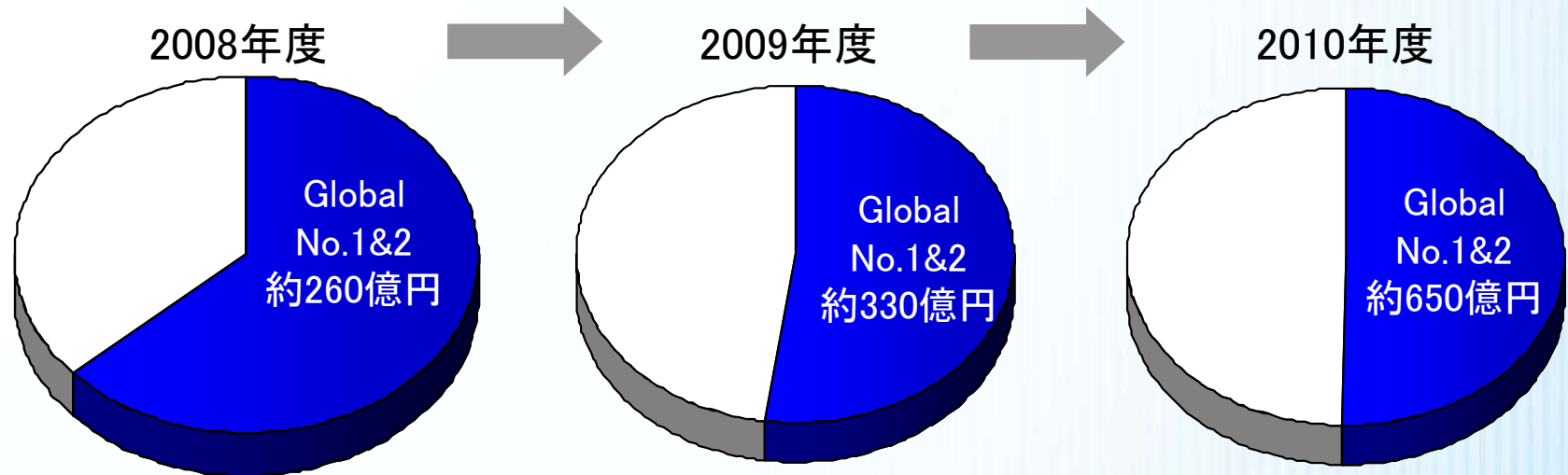
大量生産・大量消費文明の限界

事業ポートフォリオ転換の歴史(売上構成) AsahiKASEI



グローバルNo.1、No.2の事業群

営業利益構成 (「全社及び消去」セグメントを除くベース)



ケミカル・繊維 : アクリロニトリル(AN)、イオン交換膜、ロイカ™、ベンベルグ™

エレクトロニクス : ハイポア™、感光性ドライフィルムレジスト、パイメル™、ペリクル、磁気センサ、LSI*

医療 : 人工腎臓、プラノバ™、セパセル™

* オーディオ系ミックスドシグナルLSI、温度補償型水晶発振器用LSI、電子コンパスなど

世界各地に拠点を展開

アメリカ

- 旭化成アメリカ
- 旭化成プラスチック(アメリカ)
- 旭化成プラスチックノースアメリカ
- サンプラステック
- 旭化成バイオプロセス
- 旭化成メディカルアメリカ
- 旭化成スパンデックス・アメリカ
- AKM セミコンダクタ

香港

- 旭化成塑料(香港)
- 旭化成香港

ヨーロッパ

- 旭化成プラスチックヨーロッパ
- 旭化成シンセティックラバーヨーロッパ
- 旭パッケージング(ドイツ)
- 旭化成メディカルヨーロッパ(ドイツ)
- 旭化成バイオプロセスヨーロッパ
- 旭ファルマ(スペイン)
- 旭化成スパンデックス・ヨーロッパ
- 旭化成せんいイタリア
- 旭化成せんいドイツ
- 旭フォトプロダクツ(ヨーロッパ)
- 旭フォトプロダクツ(イギリス)
- 旭化成マイクロデバイスヨーロッパ

韓国

- 東西石油化学
- 旭化成ケミカルズ韓国
- 韓国旭化成メディカルトレーディング
- 旭化成マイクロデバイス韓国
- 旭化成イーマテリアルズ韓国

台湾

- 旭化成医療機材貿易(台湾)
- 台塑旭弾性繊維
- 台湾旭化成電子
- 華旭科技
- 旭シュエーベル台湾
- 台湾旭化成科技股イ分

タイ

- 旭化成プラスチック(タイランド)
- PTT旭ケミカルカンパニー
- タイ旭化成スパンデックス
- 旭陽テキスタイル(タイランド)

シンガポール

- 旭化成プラスチックシンガポール
- ポリキシレノールシンガポール
- 旭化成シンセティックラバー(シンガポール)

インドネシア

- ニップサンインドネシア

中国

-蘇州

- 旭化成(蘇州)複合塑料
- 旭化成電子材料(蘇州)

-杭州

- 旭化成分離膜装置(杭州)
- 旭化成医療機器(杭州)
- 杭州旭化成アンロン
- 杭州旭化成紡織

-広州

- 旭化成塑料(広州)

-南通

- 旭化成精細化工(南通)

-張家港

- デュポン-旭化成ポリアセタール(張家港)

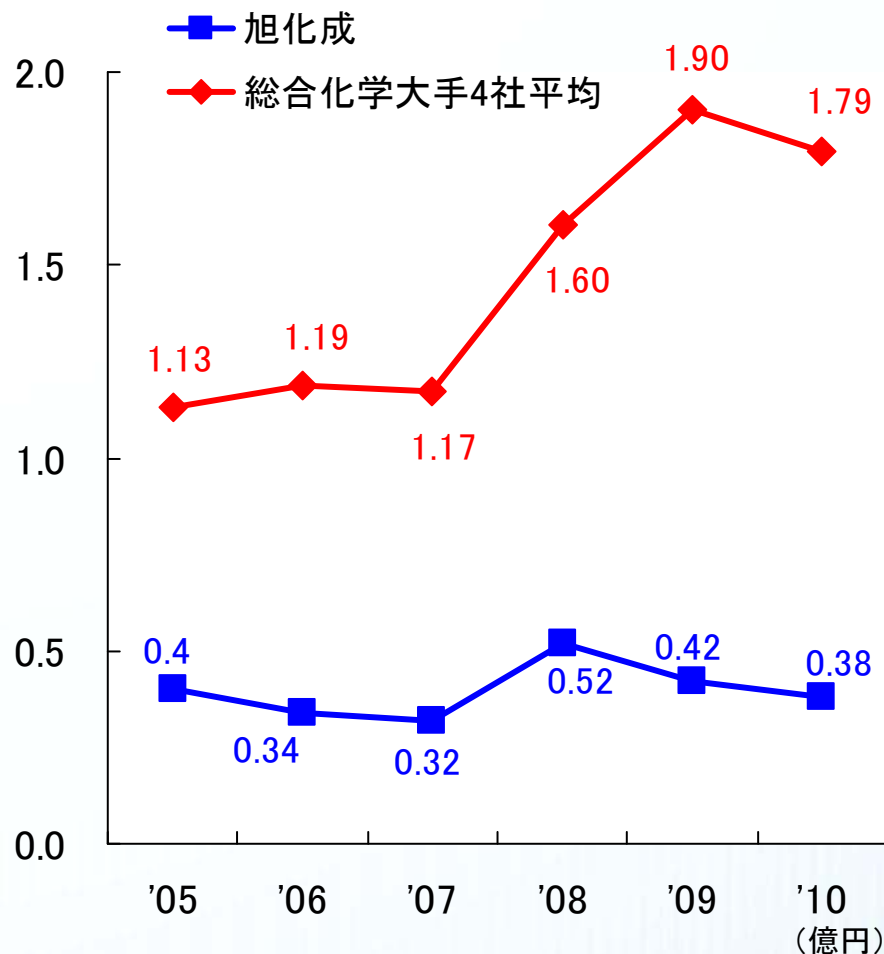
-上海

- 旭化成管理(上海)
- 旭化成塑料(上海)
- 旭化成紡織品貿易(上海)
- 旭化成電子科技(上海)

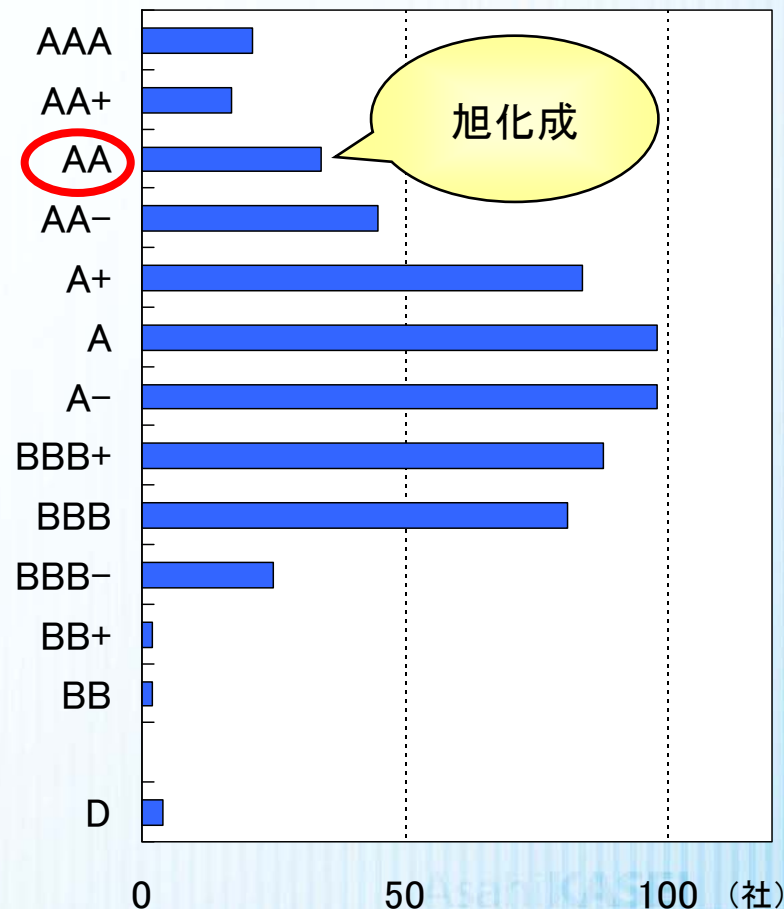
- 持株会社
- ケミカルセグメント
- 医薬・医療セグメント
- 繊維セグメント
- エレクトロニクスセグメント

強固な財務体質

D/Eレシオ (=有利子負債÷自己資本)



格付



日本格付研究所による格付(2010/7末時点)
 ※旭化成の格付はAA(2011/7時点)

有利子負債	2,358	2,169	2,114	3,156	2,646	2,539
自己資本	5,942	6,457	6,662	6,038	6,333	6,636

再生可能エネルギー を利用した事業

- 水力発電(1906年)

技術で環境に優しい 事業

- 再生セルロース繊維「ベンベルグ™」(1931年)
コットンリンターの有効利用
- イオン交換膜(1961年)
水銀・アスベスト不使用の画期的システム
- ポリカーボネート樹脂(1999年)
CO₂を原料に使用
- アジピン酸(1999年)
生産プロセスでN₂O(亜酸化窒素)を分解除去、旭化成グループの
温室効果ガス排出量は90年比約50%の削減を達成

省エネ技術で環境に 貢献する事業

- 「ヘーベルハウス™」(1972年)
断熱性の高い高品質住宅
- リチウムイオン二次電池用セパレータ
「ハイポア™」(1977年)

環境改善のための 事業

- 水処理用中空糸ろ過膜(1976年)

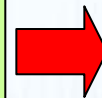
2. 新中期経営計画 “For Tomorrow 2015”の全体像

新中期経営計画に向けて



Growth Action - 2010の総括

- 環境激変の影響を受け、計画の一部は未達
 - ・当初計数目標の未達
 - ・成長への布石を実行したが未完
- 財務体質の改善により、成長分野へ大型投資できる強固な体質を確保



For Tomorrow 2015の骨子

- 原点に立ち返り、行動の軸を定め、世の中に価値を提供していく
- ✓ 経営環境、トレンドを踏まえ、
- ✓ 旭化成らしいあり方で、
- ✓ 成長を追求する

理念、価値観、ビジョン(行動の原点)



グループスローガン 昨日まで世界になかったものを。

グループ理念

グループの普遍的な「存在意義」

グループバリュー

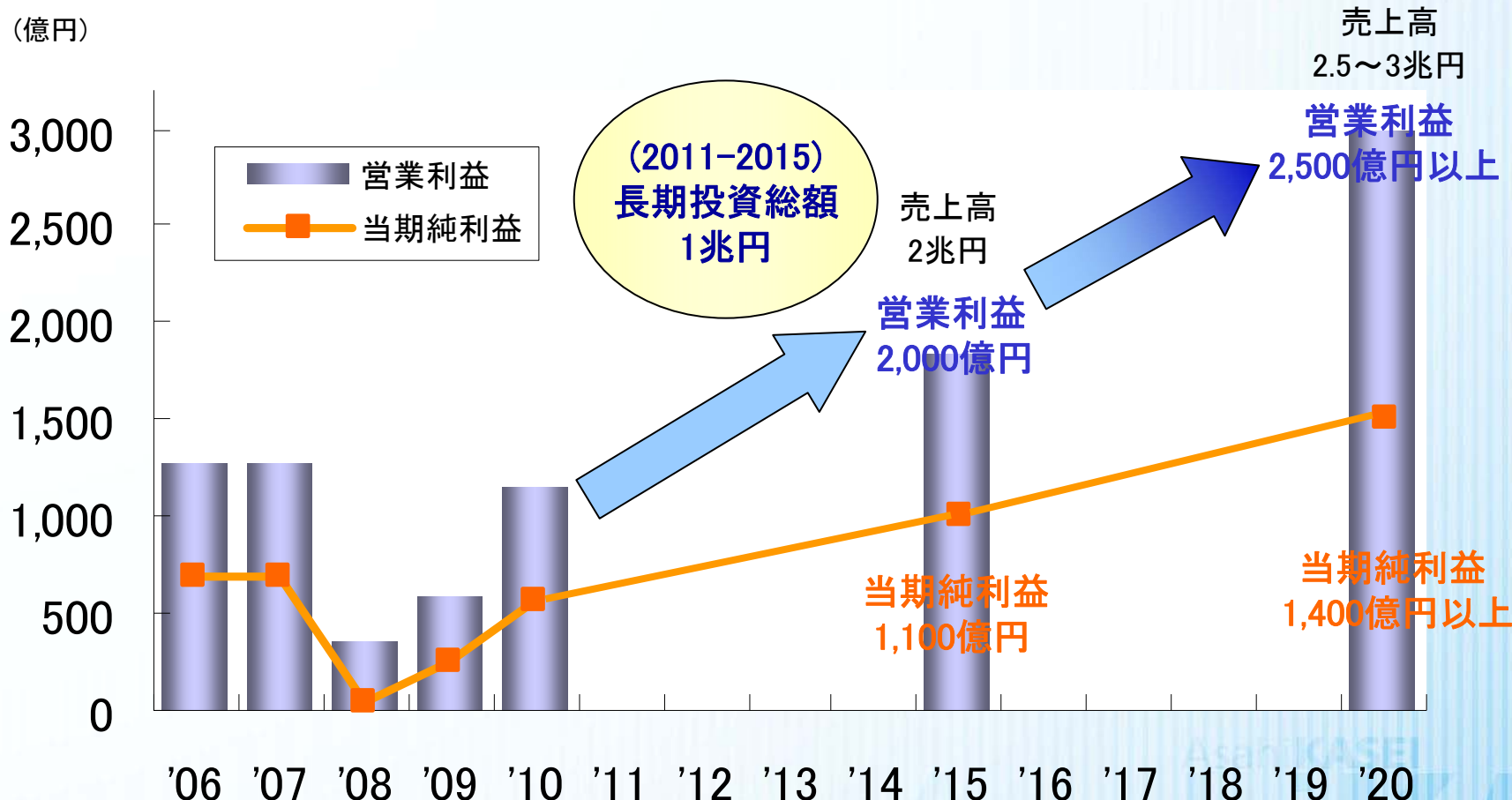
グループで働く者が必ず持つべき「共通の価値観」

グループビジョン

旭化成グループの「目指す姿」

旭化成の目指す姿

社会の変化を先取りし、「健康で快適な生活」「環境との共生」の視点で
“昨日まで世界になかった”価値を提供し、継続的に企業価値を向上



配当性向3割を目安に、継続的な増配を目指す

- ✓「健康で快適な生活」「環境との共生」の視点で、
- ✓グループをあげて昨日まで世界になかったものを提供する

【基本戦略】

1. 事業戦略

【成長の追求】

(1)グローバルリーディング事業の展開

(2)新しい社会価値の創出

「健康で快適な生活」「環境との共生」視点
での事業推進

- ①環境・エネルギー関連事業の拡大
- ②住・くらし関連事業の拡大
- ③医療関連事業の拡大

2. 制度・仕組みの革新

【one Asahi Kasei 経営の推進】

(1)グローバル展開推進策

(2)新事業開発推進策

(3)理念、価値観、ビジョンの徹底

(4)人材施策

(5)経営管理、資源配分

3. 新中期経営計画

“For Tomorrow 2015”の事業戦略

(1) グローバルリーディング事業の展開

(2) 新しい社会価値の創出

① 環境・エネルギー関連事業の拡大

② 住・くらし関連事業の拡大

③ 医療関連事業の拡大

グローバルリーディング事業の展開

グローバルNo.1、No.2事業は、今後も積極的に展開し、新興国など世界の成長を取り込む

汎用製品

高機能製品

・アクリロニトリル(AN)

・毛布やセーターに使われるアクリル繊維、
家電製品などに使われるABS樹脂等の原料

・溶液重合SBR(S-SBR)

・省燃費タイヤ向け合成ゴム

・急成長する省燃費タイヤ市場での
高シェア獲得のため海外で増設を計画
→シンガポールでプラントを新設
(2013年稼動開始予定)
→シンガポールで第二期プラントを増設
(2015年稼動開始予定)

・リチウムイオン二次電池用
セパレータ「ハイポア™」

・LSI

・人工透析事業

・ウイルス除去フィルター「プラノバ™」

等



LIB用セパレータ
「ハイポア™」



ウイルス除去フィルター
「プラノバ™」

世界No.1を目指すアクリロニトリル(AN)

✓ 当社の強み

- 世界No.1の生産収率を誇る**技術力**(生産プロセス・触媒)
- トップレベルの**コスト競争力**(原料の多様化)

✓ 世界No.2 → No.1を目指す

- 生産能力: 年産75万トン、シェア13%(**アジアNo.1** 25%)

✓ タイ国PTT社とAN等の共同事業化

- **世界初のプロパン法**でAN年産20万トン(2011年央稼動開始予定)

✓ 韓国・中東での増設計画

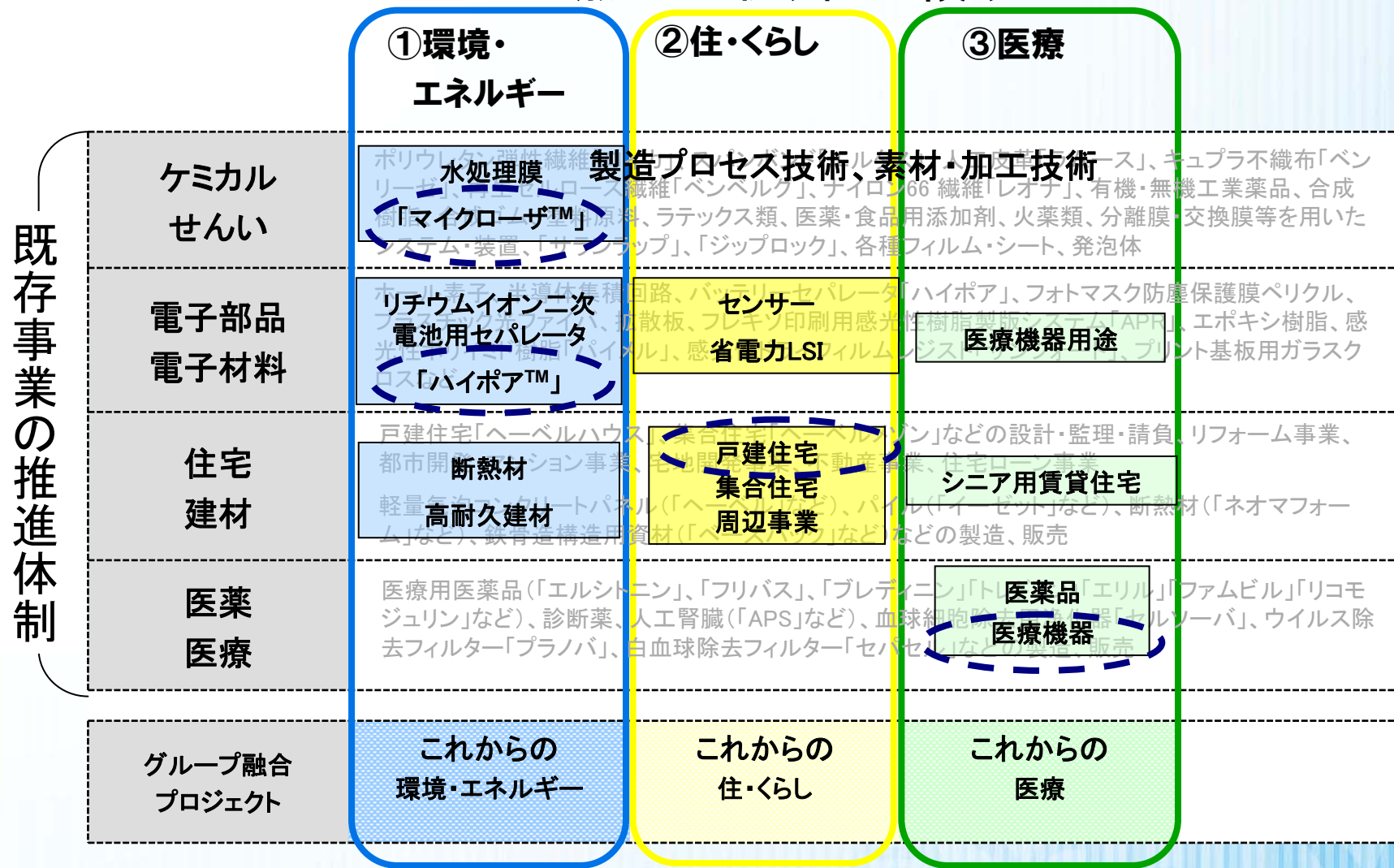
- 韓国で24.5万トン増設し、年産54.5万トンへ(2013年1月稼動開始予定)
 - サウジアラビアにおける事業化検討開始(年産20万トン)
- 2015年頃、**年産140万トン体制を目指す**



世界No.1へ

新しい社会価値の創出

重点的に取り組む領域



地球環境の悪化、限界に多様な技術で取り組み、未来を切り拓く

✓ リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」



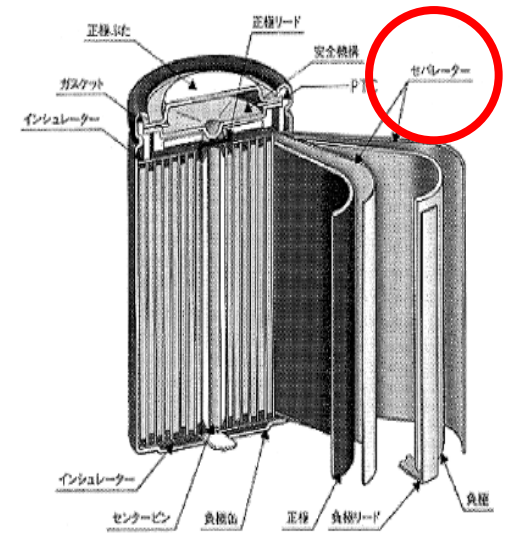
- 携帯電話やノートパソコン等のリチウムイオン二次電池用セパレータで世界No.1、シェア50%

- 高度な材料技術と加工技術
- 多様なニーズに応える品揃え

- 当社の技術力、顧客対応力を活かして、急速に立ち上がる電気自動車向け分野へ本格参入し、この分野でもシェアNo.1を狙う

- 急拡大する需要増に対応する生産能力を保有
年産約2億m²(11年8月現在)の生産能力

- 2013年春 年産5,000万m²の能力増強を決定
1系列5,000万m²の生産能力は世界最大規模



〔 パソコン用の円筒型リチウムイオン二次電池の分解図 〕

地球環境の悪化、限界に多様な技術で取り組み、未来を切り拓く

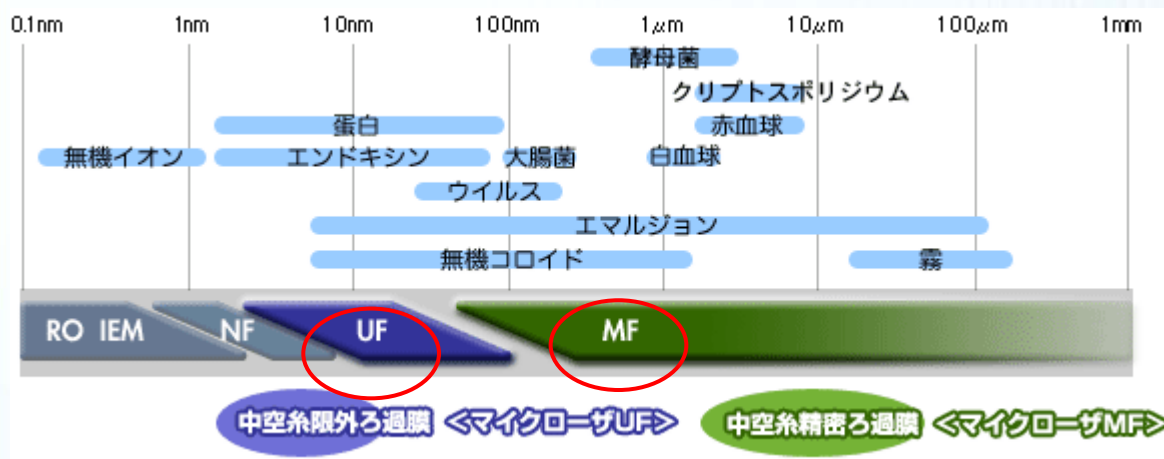
✓ 大量水処理用ろ過膜「マイクロザ™」

- 浄水用UF(限外ろ過)・MF(精密ろ過)で世界トップグループ、累積シェア22%
- 優れた耐久性・耐薬品性の中空糸膜
- 北米の上水道規制強化、中国の水質汚染・水不足深刻化等で需要拡大
- 日本、中国2拠点の生産体制(年産各3万本)

✓ 廃水リサイクル事業の開発加速

- 中国で2件、国内で11件稼働中

＜膜の種類と分離対象膜＞



マイクロザ™の用途例:

上水道

下水・排水回収

各種工業用水精製

海水淡水化前処理

住・くらし関連事業の拡大

一人でも多くのお客様に一日でも早く、快適な生活をお届けする

当社の住宅事業の特徴

- ・優れた耐震・耐火性能
都市部3階建住宅、二世帯住宅のパイオニア
- ・60年点検システム
- ・特徴ある営業戦略
 - 都市部(関東以西)にフォーカスしたエリア展開
 - 建替への注力
- ・これまで建てた住宅を活かしたリフォーム・不動産事業



等

事業の戦略

<住宅(戸建・集合)>

- ・3階建・二世帯住宅等優位性の拡大
- ・都市部ニーズを捉えた特色ある商品の展開 等

<不動産関連>

- ・住民の方々と合意して建築する合意形成型事業等による土地利用価値の最大化

<リフォーム関連>

- ・省エネ対応リフォーム等商品提案力強化
- ・リノベーション(用途変更を伴うリフォーム)



成熟した都市社会における幸せな暮らし

健康で快適な住環境

人と人の絆

省エネ・省資源・低炭素

土地利用価値の最大化

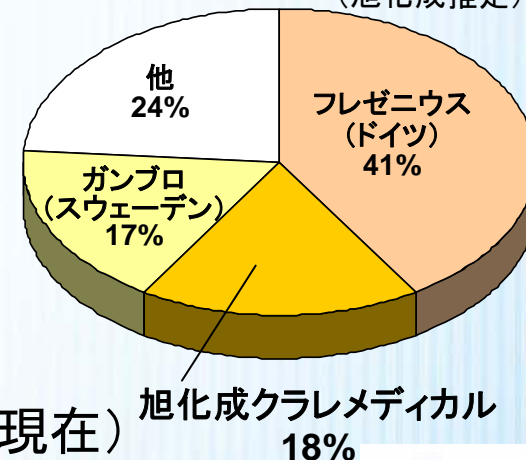
医療関連事業の拡大(1)

ユニークな製品と技術で活力ある健康長寿社会を作り上げる

✓ 透析事業の拡大

- 中空糸膜人工腎臓で国内No.1、シェア40%、世界No.2、シェア18%
- 日本・中国に生産拠点、世界的な透析患者の増加に対応し能力増強 年産3,400万束(11年3月現在) 今後も海外での能力増強、販売会社設立を更に推進
- 事業統合・提携等による戦略的な事業拡大
 - ・ ネクステージメディカル社(米)と提携(09年5月)
 - ・ 医療機器メーカー(株)メテクの100%子会社化(11年3月)
 - ・ 旭化成クラレメディカル(株)の100%子会社化を予定(12年4月)

＜世界のマーケットシェア＞
(旭化成推定)



ユニークな製品と技術で活力ある健康長寿社会を作り上げる

✓ウイルス除去フィルター*「プラノバ™」の拡大

- 世界No.1シェア
- 血しょう分画製剤、バイオ医薬品向けに需要拡大
(中長期的に年率10%以上で成長)
生産体制を大幅に強化
- 欧米に加え、中国・アジアへの展開も強化
 - ・中国 …… 血しょう分画製剤市場拡大
 - ・韓国、インド …… バイオ医薬品の後発品の拡大
- テクニクロム社(米)を買収、バイオプロセス用装置事業へ展開
バイオ医薬品の生産プロセスを提供



* バイオ医薬品等を製造する工程で、ウイルスを除去するために使用されるフィルター

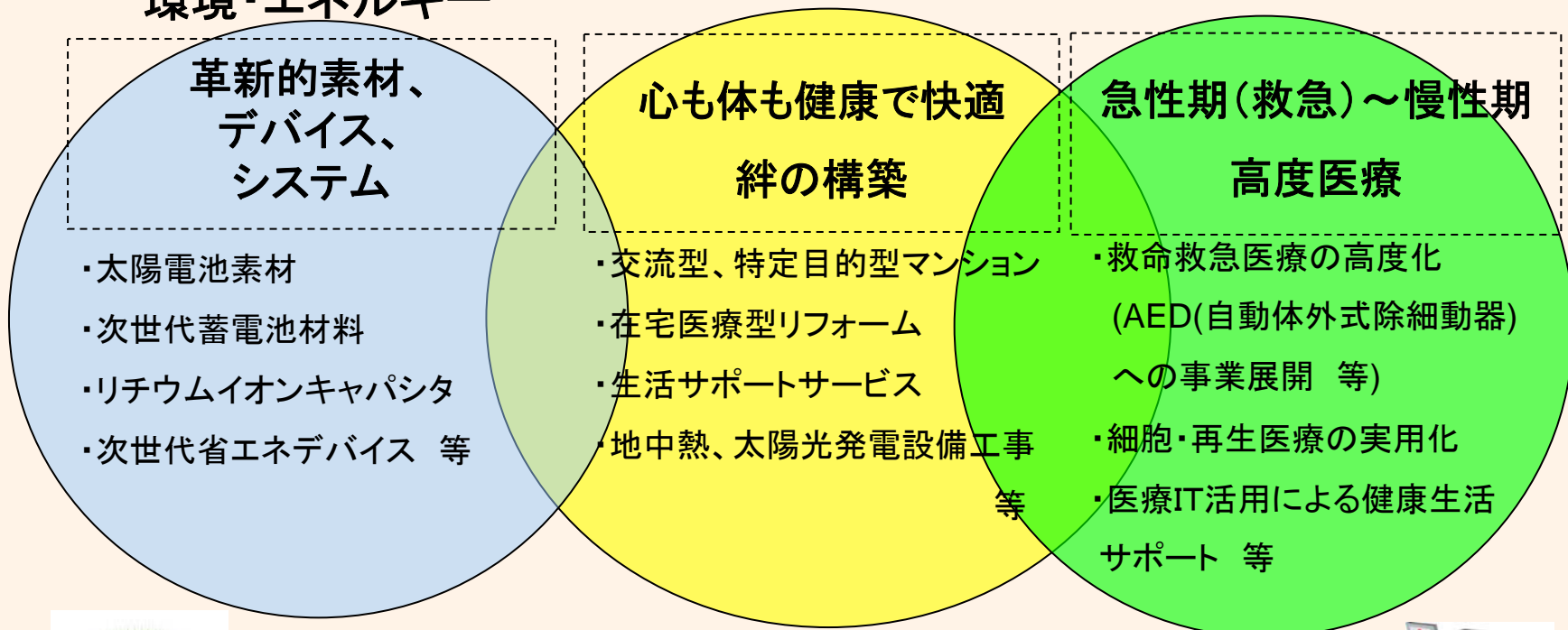
グループ融合プロジェクトによる新事業創出 AsahiKASEI

これからの世の中のニーズを先取りし、多様な事業を持つ旭化成ならではの解決策を提示していく

(i) これからの
環境・エネルギー

(ii) これからの住・暮らし

(iii) これからの医療



【環境との共生】



【健康で快適な生活】



グループ理念の実現を定量指標で確認

「健康で快適な生活」「環境との共生」の実現に向けて、羅針盤となる定量的指標で旭化成が着実に前進していることを確認する

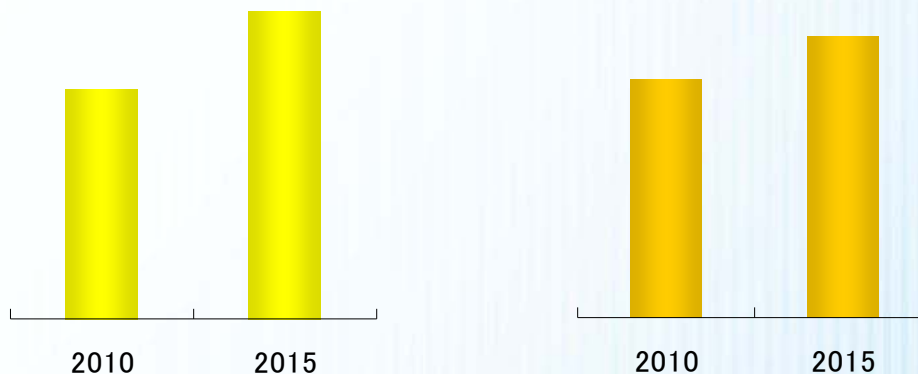
健康で快適な生活



医薬・医療貢献人数 「ヘーベルハウス™」居住者数

3割増

2割増



環境との共生

[例]

CO₂排出量の削減 5% (2020年度 (2005年度比))

LCA・CO₂削減量* / 当社CO₂排出量 8.0 (2020年度 (現状3.2))

* LCAはライフサイクル・アセスメントの略で、LCA・CO₂削減量は、原材料、製造から廃棄まで、製品のライフサイクルすべてにおけるCO₂削減量



定量指標の進歩・改善により、旭化成グループが

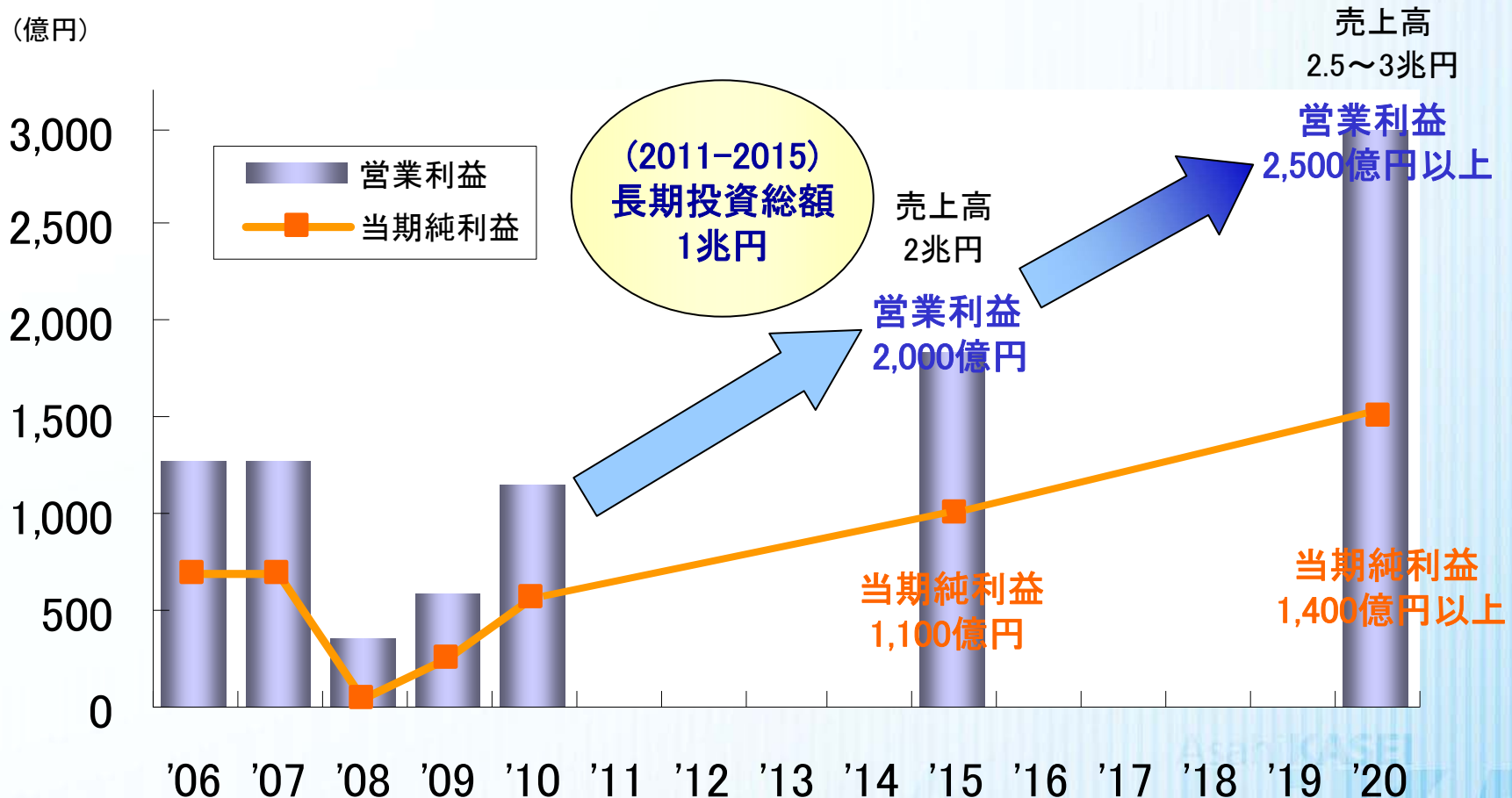
世界の人びとの“いのち”と“くらし”に貢献

していることを確認し、グループ理念の実現を常に意識

4. 旭化成の目指す姿と 株主還元の方

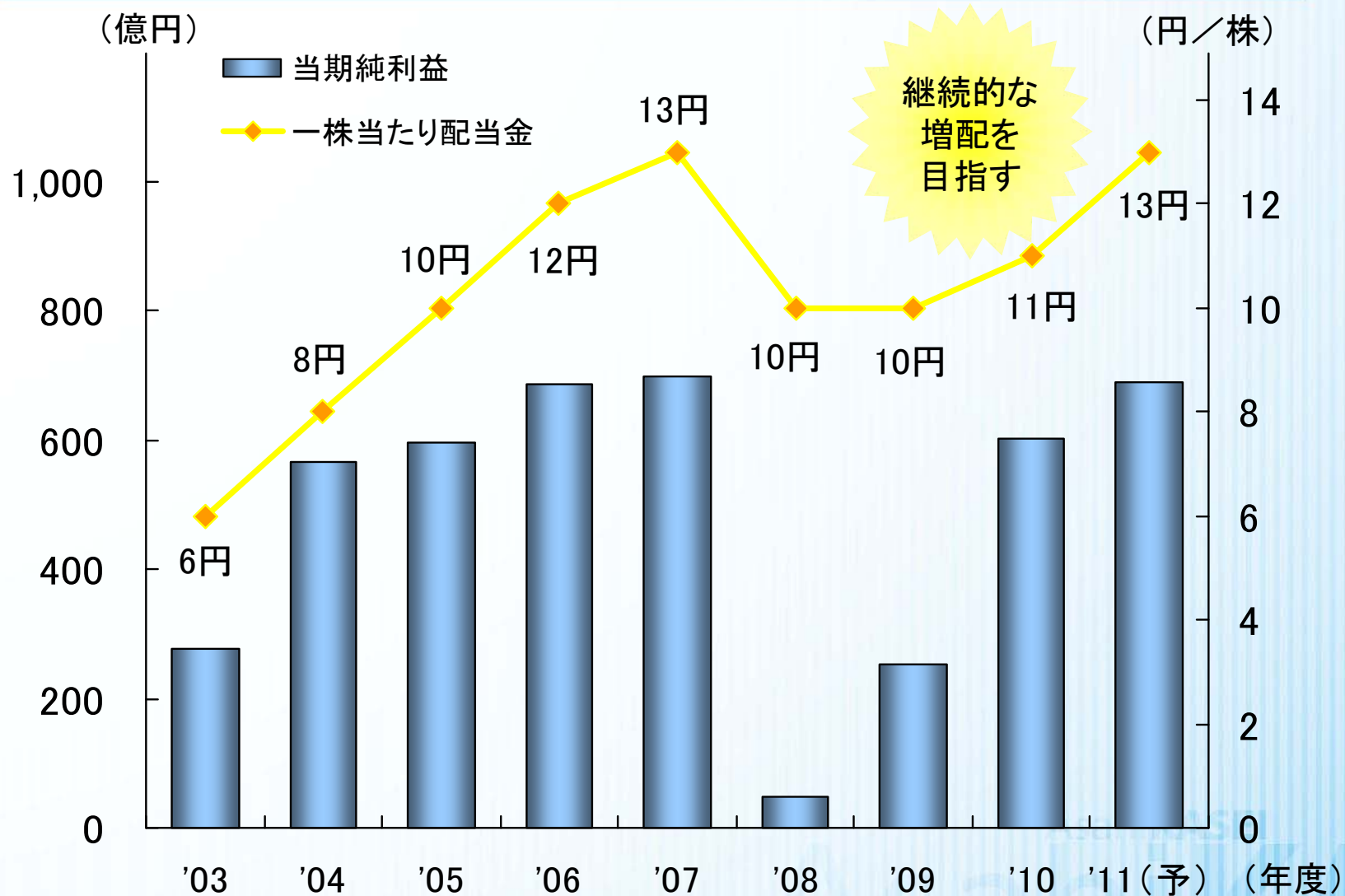
旭化成の目指す姿

社会の変化を先取りし、「健康で快適な生活」「環境との共生」の視点で
“昨日まで世界になかった”価値を提供し、継続的に企業価値を向上



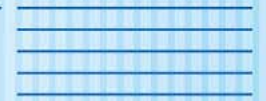
配当性向3割を目安に、継続的な増配を目指す

配当性向3割を目安とした配当



配当性向

30.6%	19.9%	23.6%	24.5%	26.0%	295.0%	55.3%	25.5%	26.4%
-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------



昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、
より豊かな“くらし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、

次の時代へ大胆に応えていくために——。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

参考資料

株価の推移



発行済み株式総数
1,402,616,332株

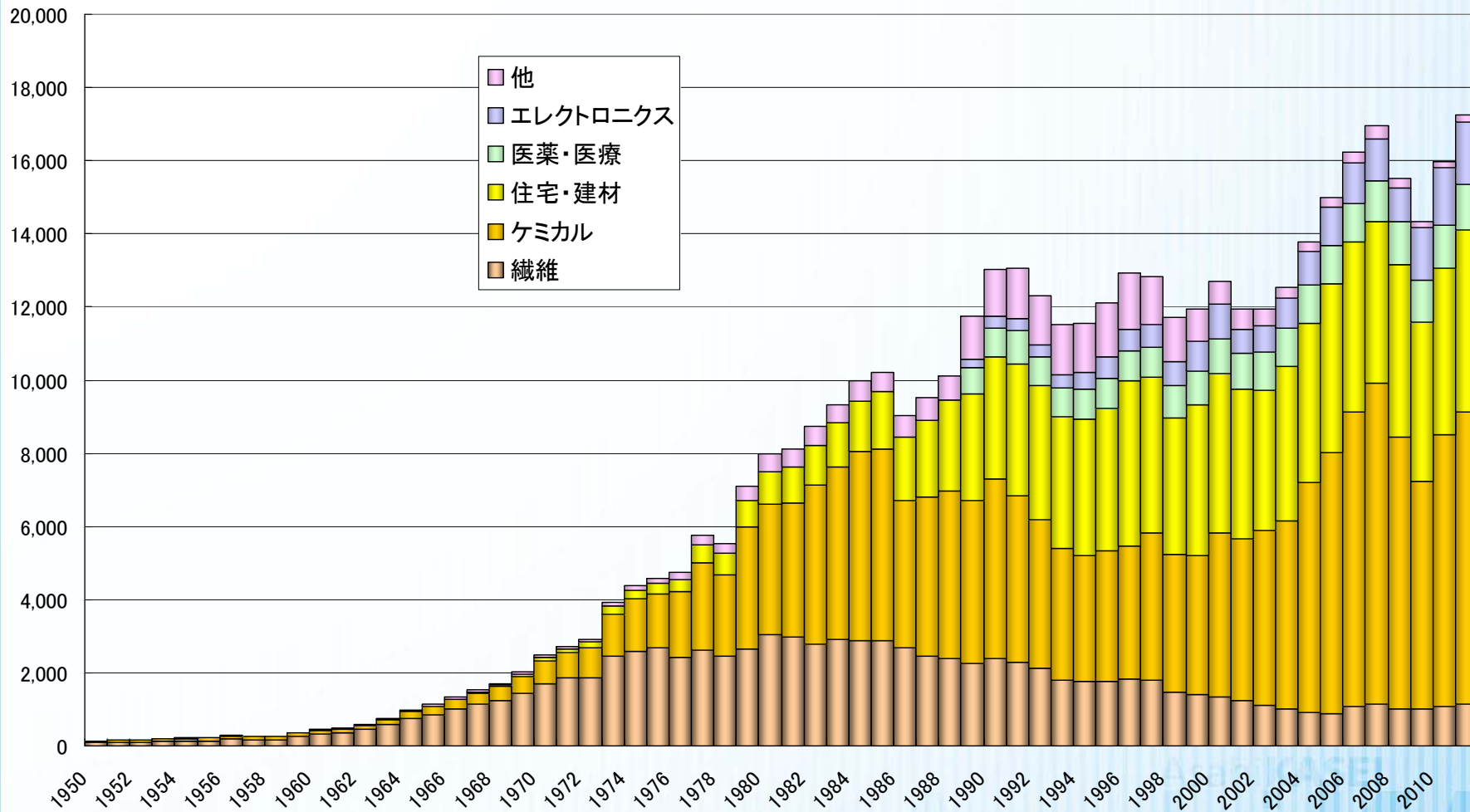
単元株式数
1,000株

1株当たり当期純利益(EPS)	43.11円
1株当たり年間配当金	11円
配当性向	25.5%
1株当たり純資産(BPS)	474.59円

(2010年度実績ベース)

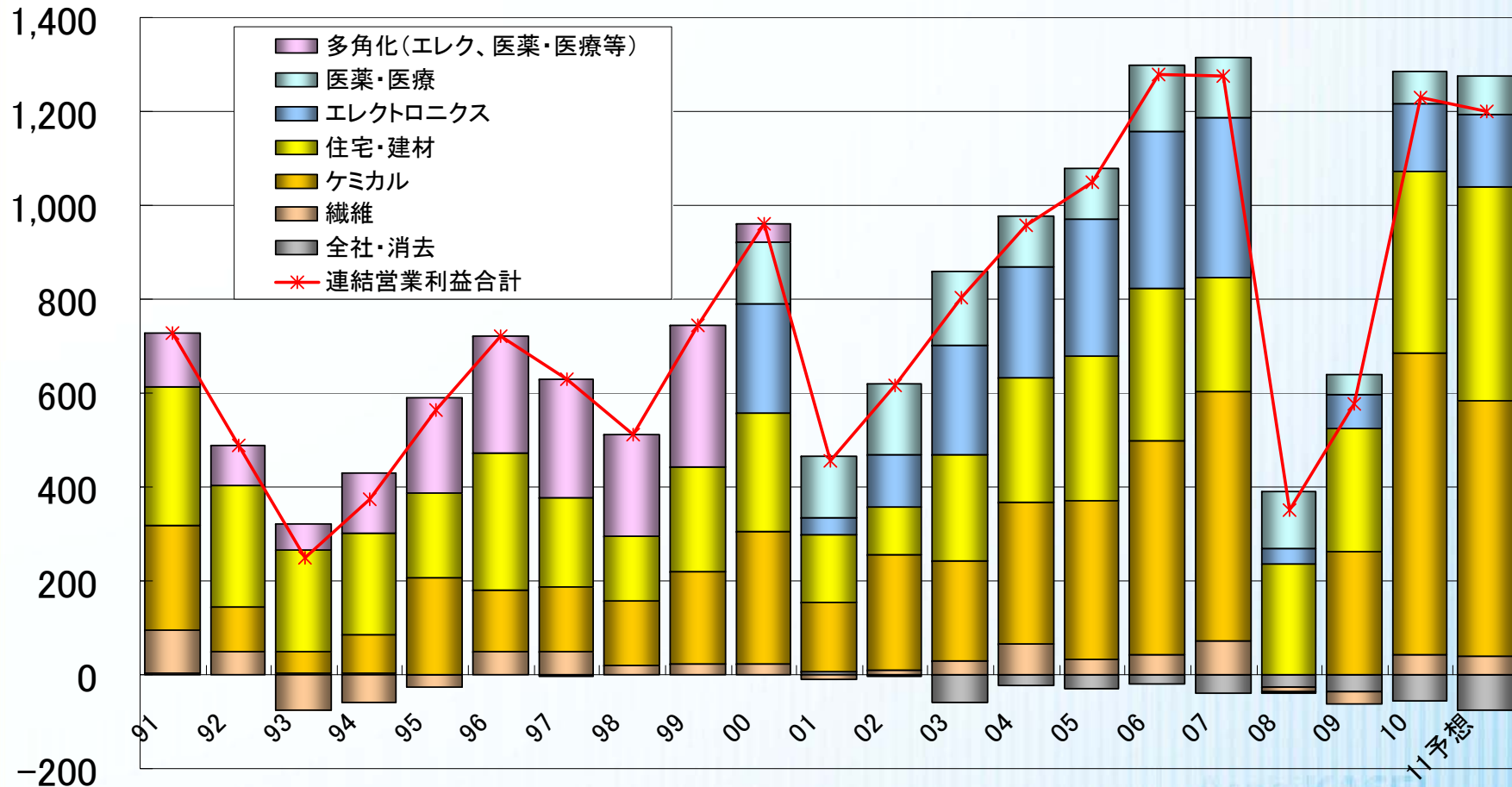
売上高の推移

(億円)



営業利益の推移

(億円)



連結貸借対照表

AsahiKASEI

(億円)

	10/3月末	11/3月末	増減		10/3月末	11/3月末	増減
流動資産	6,604	7,557	952	負債	7,242	7,503	261
現金及び預金	939	1,403	464	流動負債	4,348	4,899	551
受取手形及び売掛金	2,389	2,734	345	固定負債	2,894	2,604	-290
棚卸資産	2,511	2,562	52	純資産	6,447	6,756	309
その他	765	857	92	株主資本	6,129	6,594	465
固定資産	7,085	6,702	-383	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,475	4,184	-291	資本剰余金	794	794	-0
無形固定資産	347	311	-36	利益剰余金	4,321	4,787	466
投資その他の資産	2,263	2,208	-56	自己株式	-20	-21	-1
				その他の包括利益累計額	205	42	-162
				少数株主持分	113	120	7
資産合計	13,689	14,259	570	負債純資産合計	13,689	14,259	570

連結損益計算書(要旨)

(上段:百分率、% 下段:金額、億円)

	09年度	10年度	増減	増減率
	100.0%	100.0%		
売上高	14,336	15,984	1,648	11.5 %
	76.8%	74.7%		
売上原価	11,007	11,936	930	8.4 %
	23.2%	25.3%		
売上総利益	3,329	4,047	718	21.6 %
	19.2%	17.6%		
販管費	2,753	2,818	65	2.4 %
	4.0%	7.7%		
営業利益	576	1,229	653	113.3 %
営業外損益	-13	-47	-35	
(内、金融収支)	(-4)	(0)	(4)	
(内、持分法投資利益)	(12)	(22)	(11)	
(内、為替差損)	(-7)	(-39)	(-32)	
(内、訴訟関連費用)	(-)	(-19)	(-19)	
	3.9%	7.4%		
経常利益	564	1,182	619	109.7 %
特別損益	-103	-199	-96	
	3.2%	6.2%		
税前利益	461	983	523	113.5 %
法人税等	-205	-367	-162	
少数株主損益	-3	-14	-11	
	1.8%	3.8%		
当期純利益	253	603	350	138.4 %

セグメント別売上高

AsahiKASEI

(億円)

	10年度			11年度(予)*			増減 b-a	11年度 上(予)†
	上	下	計a	上	下	計b		
ケミカル	3,650	3,773	7,422	4,000	4,000	8,000	578	3,890
住宅	1,735	2,357	4,092	1,920	2,530	4,450	358	1,920
医薬・医療	578	586	1,164	610	630	1,240	76	600
繊維	546	542	1,088	550	580	1,130	42	550
エレクトロニクス	832	752	1,583	830	860	1,690	107	810
建材	234	240	474	270	270	540	66	240
その他	74	86	160	90	100	190	30	90
合 計	7,648	8,336	15,984	8,270	8,970	17,240	1,256	8,100

* 2011年5月時点の予想

† 2011年8月時点の上期予想

セグメント別営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	10年度			11年度(予)*			増減 b-a	11年度 上(予)†
	上	下	計a	上	下	計b		
ケミカル	373	270	644	270	275	545	-99	350
住宅	101	264	365	130	290	420	55	150
医薬・医療	42	29	70	45	35	80	10	45
繊維	23	19	42	15	25	40	-2	20
エレクトロニクス	107	35	143	75	80	155	12	75
建材	11	10	21	15	20	35	14	10
その他	8	9	17	10	10	20	3	10
消去又は全社	-30	-42	-72	-55	-40	-95	-23	-55
合 計	635	594	1,229	505	695	1,200	-29	605

* 2011年5月時点の予想

† 2011年8月時点の上期予想

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

AsahiKASEI

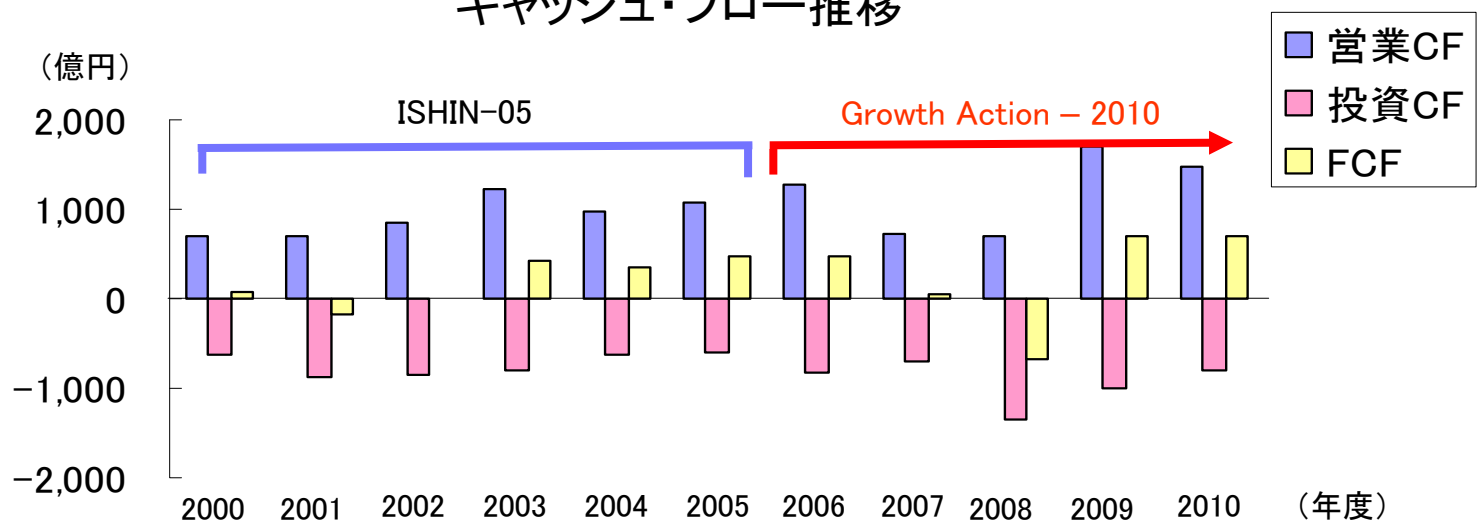
(億円)

	09年度	10年度
営業活動によるキャッシュ・フロー①	1,693	1,481
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-1,002	-788
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	691	693
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-751	-261
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	6	-27
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	-53	404
現金及び現金同等物の期首残高⑦	981	931
非連結子会社の連結化に伴う増加額⑧	4	9
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	931	1,344

AsahiKASEI

キャッシュ・フロー、設備投資額等の推移

キャッシュ・フロー推移



設備投資額、減価償却費、研究開発費推移

(億円)

	06年度 実績	07年度 実績	08年度 実績	09年度 実績	10年度 実績	11年度 予想
設備投資額	844	829	1,267	840	660	800
減価償却費	716	740	794	873	852	860
研究開発費	524	562	608	629	623	660
投資有価証券の取得	30	21	175	113	76	50

(支払ベース、上記設備投資額の外数)

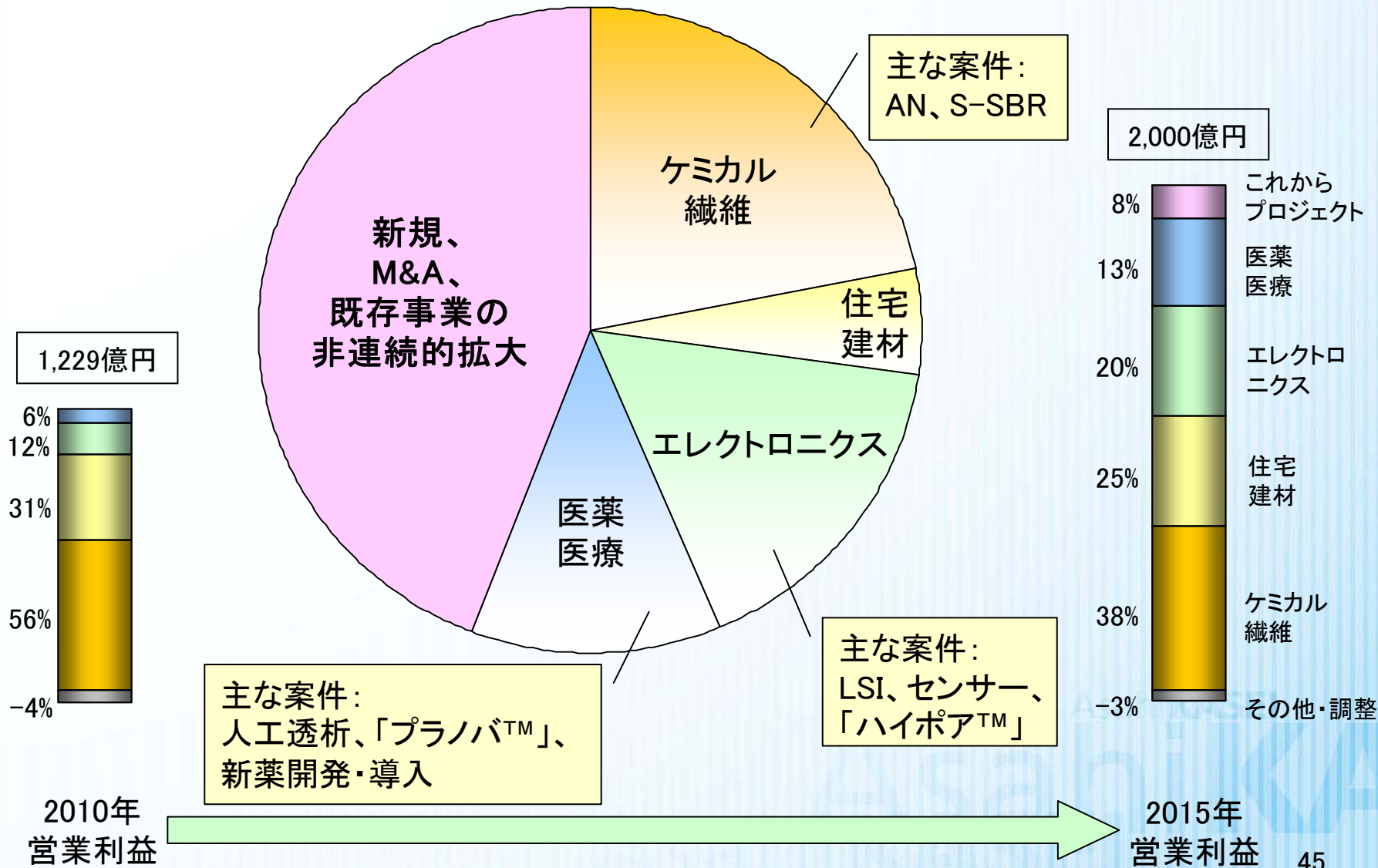
事業領域別計数計画

(億円)

	売上高				営業利益				営業利益 構成割合	
	2010	2011 予想	2015	対2010	2010	2011 予想	2015	対2010		
ケミカル・繊維	8,510	9,130	8,800	+290	686	585	750	+64	'10	'15
住宅・建材	4,566	4,990	5,700	+1,134	386	455	500	+114	56%	38%
エレクトロニクス	1,583	1,690	2,500	+917	143	155	400	+257	31%	25%
医薬・医療	1,164	1,240	1,800	+636	70	80	250	+180	12%	20%
その他・調整	160	190	200	+40	-55	-75	-50	+5	6%	13%
小計	15,984	17,240	19,000	+3,016	1,229	1,200	1,850	+621	-4%	-3%
これからプロジェクト			1,000	+1,000			150	+150		8%
					(2020年) 約3,000				(2020年) 約500	
合計	15,984	17,240	20,000	+4,016	1,229	1,200	2,000	+771		

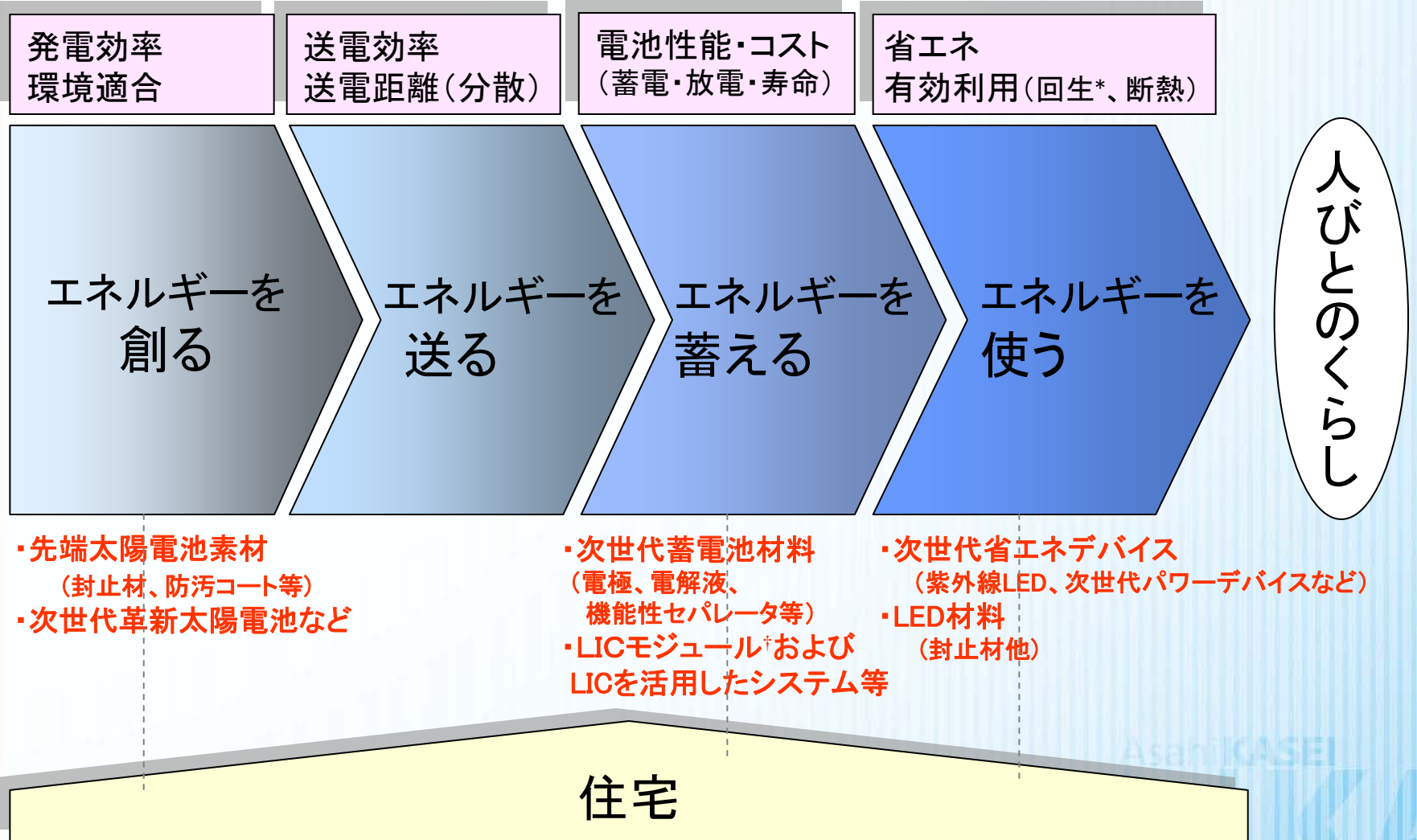
長期投資計画

5年間で**1兆円規模**の長期投資を実行



(i) これからの環境・エネルギー

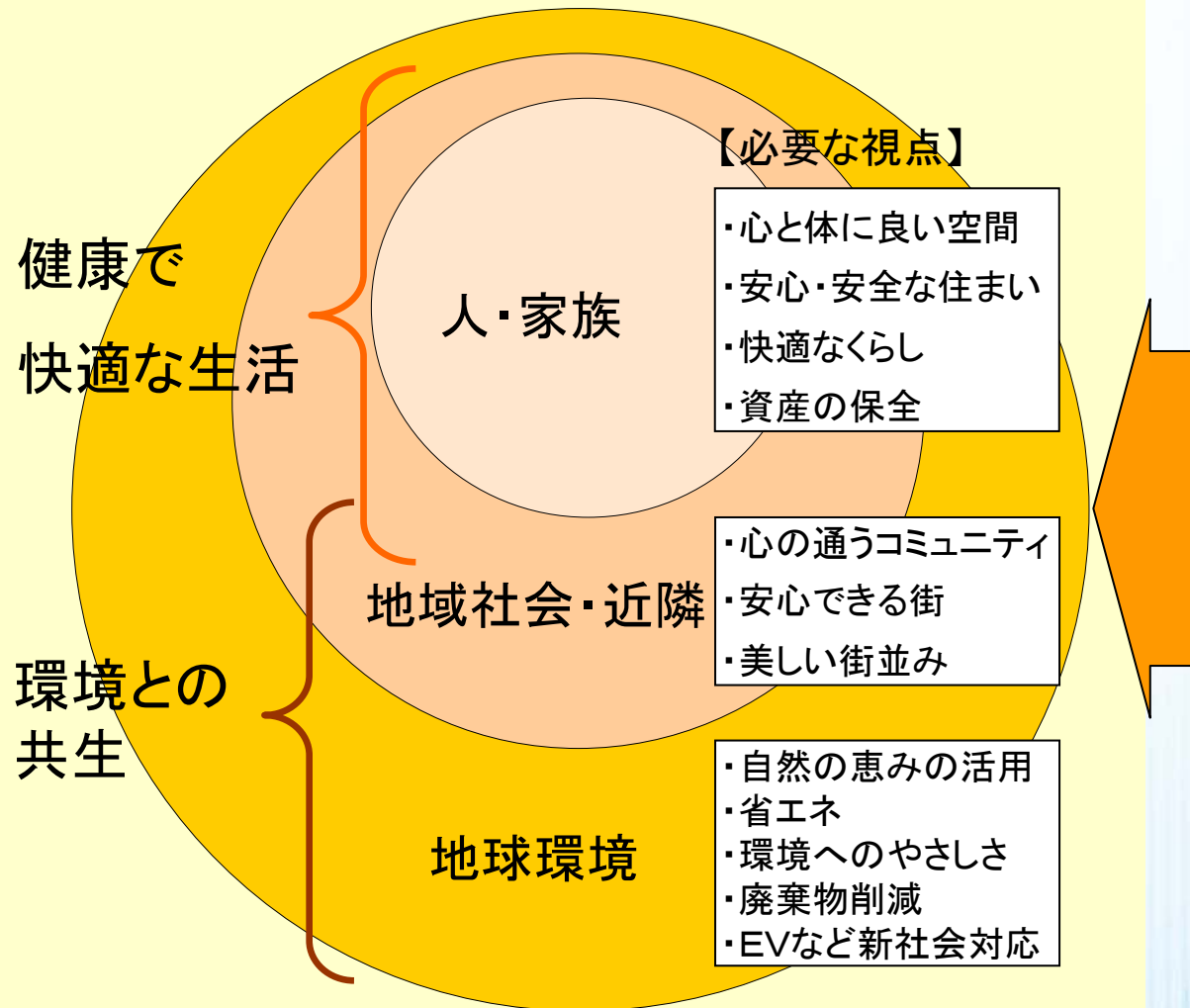
【必要な視点】



* ブレーキで出る熱エネルギーを電気エネルギーに変換して動力源として蓄積すること

† LIC(リチウムイオンキャパシタ)と制御回路等を組み合わせたもので、バックアップ電源やEV(電気自動車)・HEV(ハイブリッドカー)等に用いられる

(ii) これからの住・暮らし



□新たな視点での都市開発

- ・交流型、特定目的型マンション
- ・医住近接モール、中小病院再生
- ・スマートタウン

□新たな視点でのリフォーム

- ・交流型リフォーム
(コレクティブハウス*型改築など)
- ・在宅医療型リフォーム
- ・新規住宅設備リフォーム

□新たな視点での住宅設備

- ・地中熱、シート型太陽光発電設備
- ・ロッカータイプの野菜工場
- ・省エネ、健康監視システム
(センサー技術の活用)

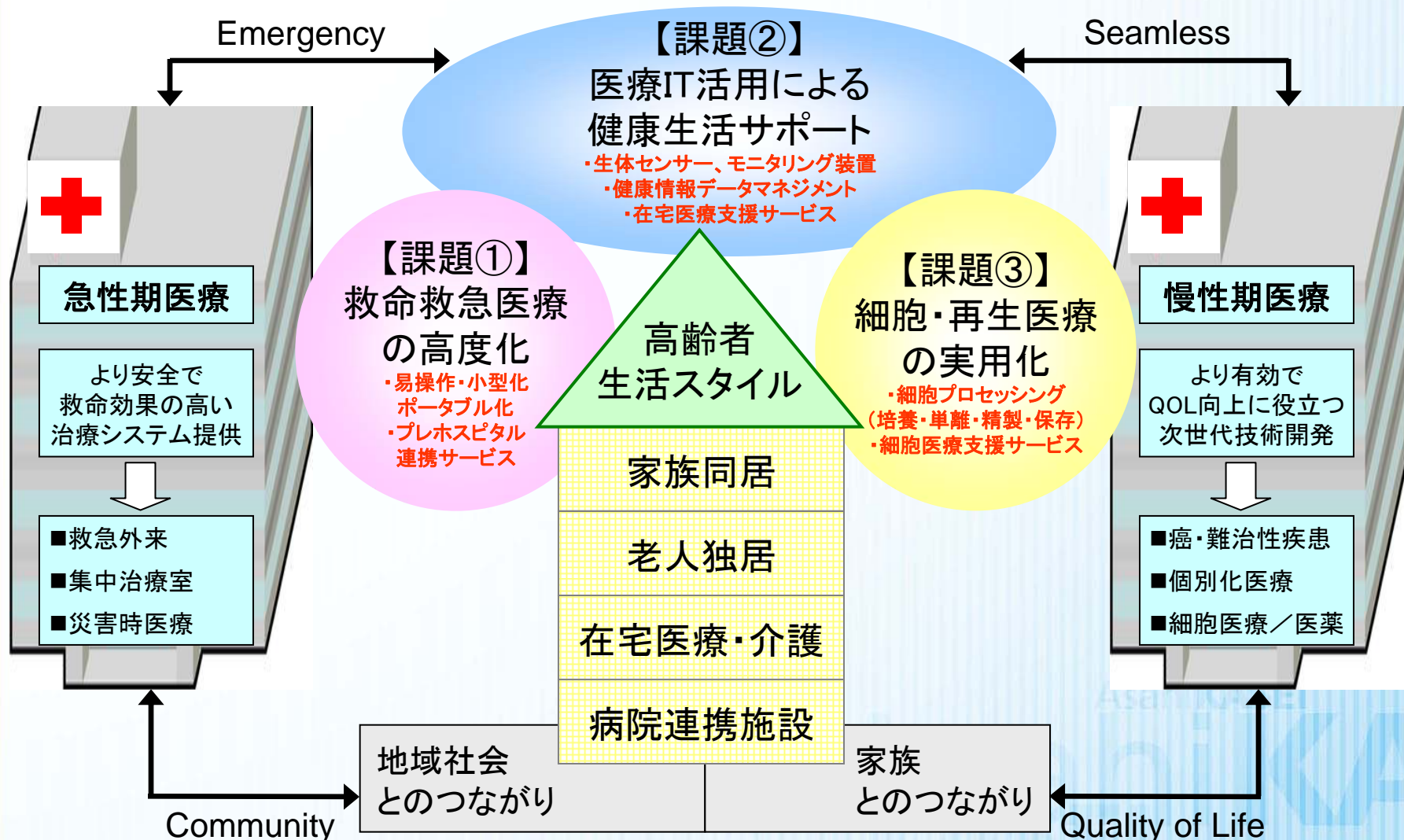
□その他

- ・生活サポートサービス
(建設時～入居後)
- ・インテリア、外構、ガーデニング
- ・中古住宅流通仲介
- ・海外での住宅事業

*集合住宅の形態の一つ。独立した居住スペースの他に、居間や台所などを共同で使用できるスペースを備えたもの。

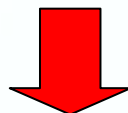
(iii) これからの医療

「健康長寿社会」 : 3つの課題への挑戦

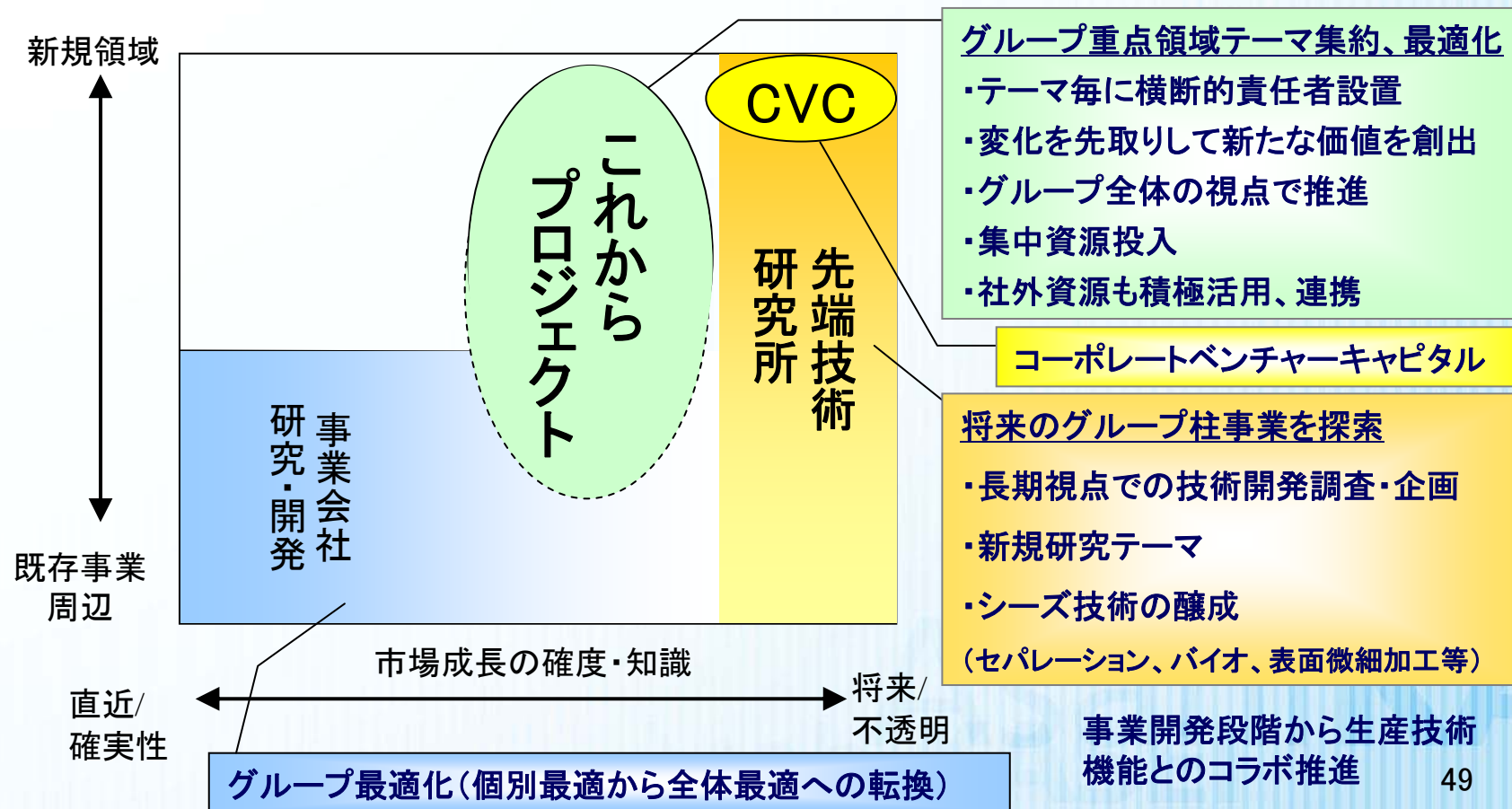


新事業開発推進策

従来 事業会社：事業に関連するR&Dをマーケットに近いところでそれぞれ実施
 持株会社：上記以外のR&Dテーマを推進



グループ重点テーマに、横断的、融合的に取り組む体制



CSRの取り組み

➤コンプライアンスの徹底

- 企業倫理に関する方針・行動基準の制定

➤レスポンジブル・ケアの推進

- 環境配慮評価*で最高評価のトリプルエー(AAA)を取得(2010年12月)
先進的な環境配慮経営を行う企業として、優遇金利で(株)三井住友銀行が融資

* 環境配慮評価とは、(株)日本総合研究所(三井住友フィナンシャルグループ)が作成した独自の評価基準に基づき、企業の環境配慮状況を評価

➤社員の個の尊重

- ワークライフバランスの推進

厚生労働省より次世代育成支援に積極的な企業として、次世代認定マーク「くるみん」を取得(旭化成(株)他)(2007年、2010年)

- につけい子育て支援大賞受賞(2009年12月)

男性社員の育児休業取得促進を評価

(配偶者が出産した男性の40%が育児休業制度を利用)



➤社会との共生

- 第59回日経広告賞コーポレートブランド広告賞優秀賞(2010年)
- 出前授業(講師派遣事業)の展開

小・中学生に科学技術への関心と理解を深めてもらうために実施

ケミカルの主な製品

汎用系				高付加価値系	
基礎・モノマー系		ポリマー・エラストマー系			
基礎原料	苛性ソーダ・塩素	汎用	ポリエチレン	膜	マイクロザ™(大量水処理用ろ過膜(MF、UF))
	アンモニア	ポリマー	ABS・AS樹脂		イオン交換膜及び装置
	硝酸		MMAペレット・シート 合成ゴム・エラストマー	機能化学品	デュラネート™(HDI系ポリイソシアネート) アルミペースト
モノマー	アクリロニトリル(AN)	機能樹脂・	テナック™(ポリアセタール樹脂)		SBラテックス
	スチレンモノマー(SM)	コンパウンド	ザイロン™(変性PPE樹脂)	添加剤	セオラス™(結晶セルロース)
	MMAモノマー		レオナ™(ナイロン66樹脂)	火薬	火薬・金属加工
	シクロヘキサノール			消費材	サランラップ™(食品包装用ラップ)
	アジピン酸				パッケージング材料
売上高構成比	75%			売上高構成比	25%

* 売上高構成比は2010年度実績をベースに計算。

ケミカルズの汎用製品

2010.11.1現在

	旭化成ケミカルズ		同業大手			当社の主要ユーザー	当社のポジション
	生産能力 (kt/y)	シェア (%)	社名	生産能力 (kt/y)	シェア (%)		
AN	750	13	Ineos	1,324	23	アクリル繊維、ABS、自消 (ABS、アジポニトリル)	世界No.2メーカー No.1を目指し、韓国における 設備能力増強を決定
SM	710	2	Shell	2,070	7	発泡PS、ABS、SBラテック ス、不飽和ポリエステル、 SBR、自消(P.S、ABS、SB ラテックス、SBR)	国内生産能力No.1
			Ineos	2,052	7		
			DOW	1,969	6		
MMA モノマー	100	3	三菱レイヨン	1,356	36	MS、MBS、塗料メーカー、 自消(MMAポリマー)	現ポジションは高くないが、自 社技術でコスト競争力ある直 メタプロセスを採用
アジピン酸	170	6	INVISTA	640	22	ウレタンメーカー、自消(ナ イロン66)	アジアトップグループ
			Rhodia	455	16		

(注1)シェアおよび同業大手生産能力は推定ベース

(注2)シェアは生産能力シェア

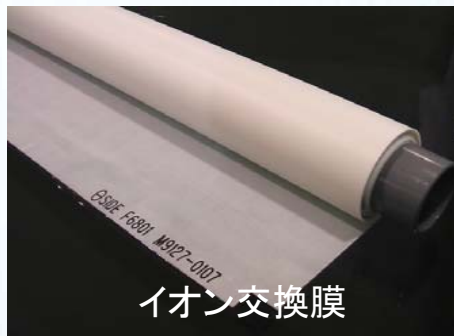
ケミカルの高付加価値系事業

分野	製品	業界ポジション
膜	マイクロザ™(分離膜)	世界トップグループ 22%シェア
	イオン交換膜(食塩電解)	世界No.1 45%シェア
	イオン交換膜法食塩電解プラント(累積ベース)	世界No.1 30%シェア
機能化学品	デュラネート™(HDI系ポリイソシアネート)	国内No.1
	アルミペースト	国内No.2
	アクリルラテックス、サランラテックス	サランラテックス: 世界No.2 20%シェア
添加剤	セオラス™(結晶セルロース)	世界No.3

世界に拡大するイオン交換膜法食塩電解プロセス* AsahiKASEI

- ✓ イオン交換膜 シェア45%、電解プラント シェア30%の世界No.1
- ✓ 従来の水銀法・隔膜(アスベスト使用)法に比べて有害物質を使用せず、環境に優しく、省エネルギーで、旭化成が世界で初めて開発・商業化した技術
- ✓ 新規需要や膜の更新に加え、水銀法・隔膜法からの切替需要が拡大

* イオン交換膜を使用して、食塩水を電気分解し、基礎化学品の塩素とカ性ソーダを生産するシステム



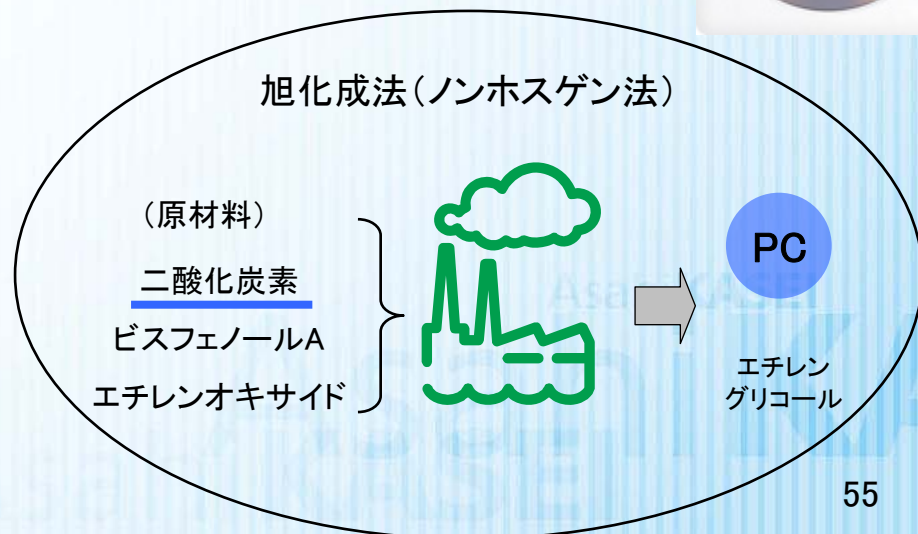
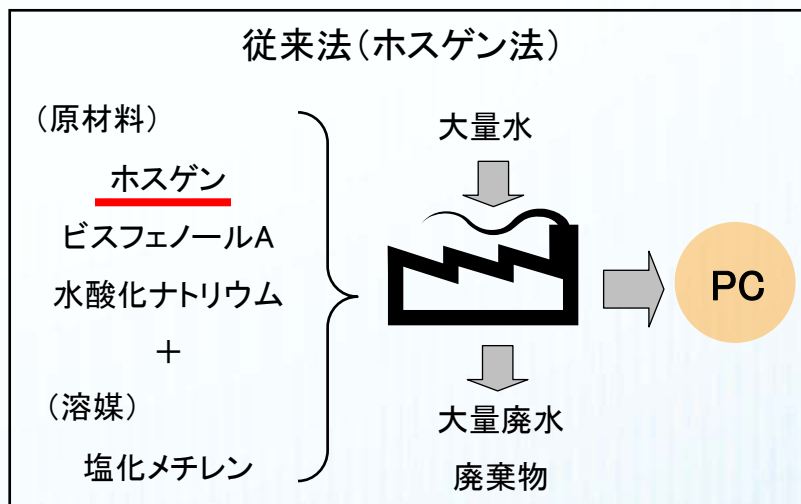
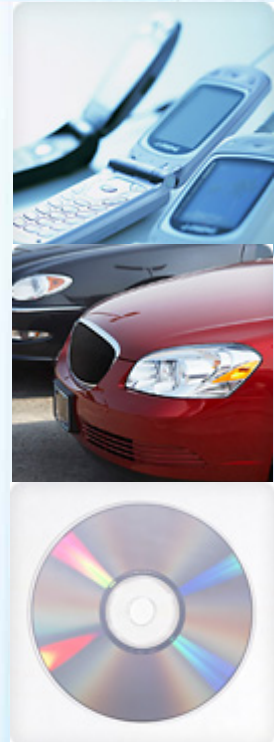
イオン交換膜



イオン交換膜法食塩電解プラント

ポリカーボネート樹脂製造技術

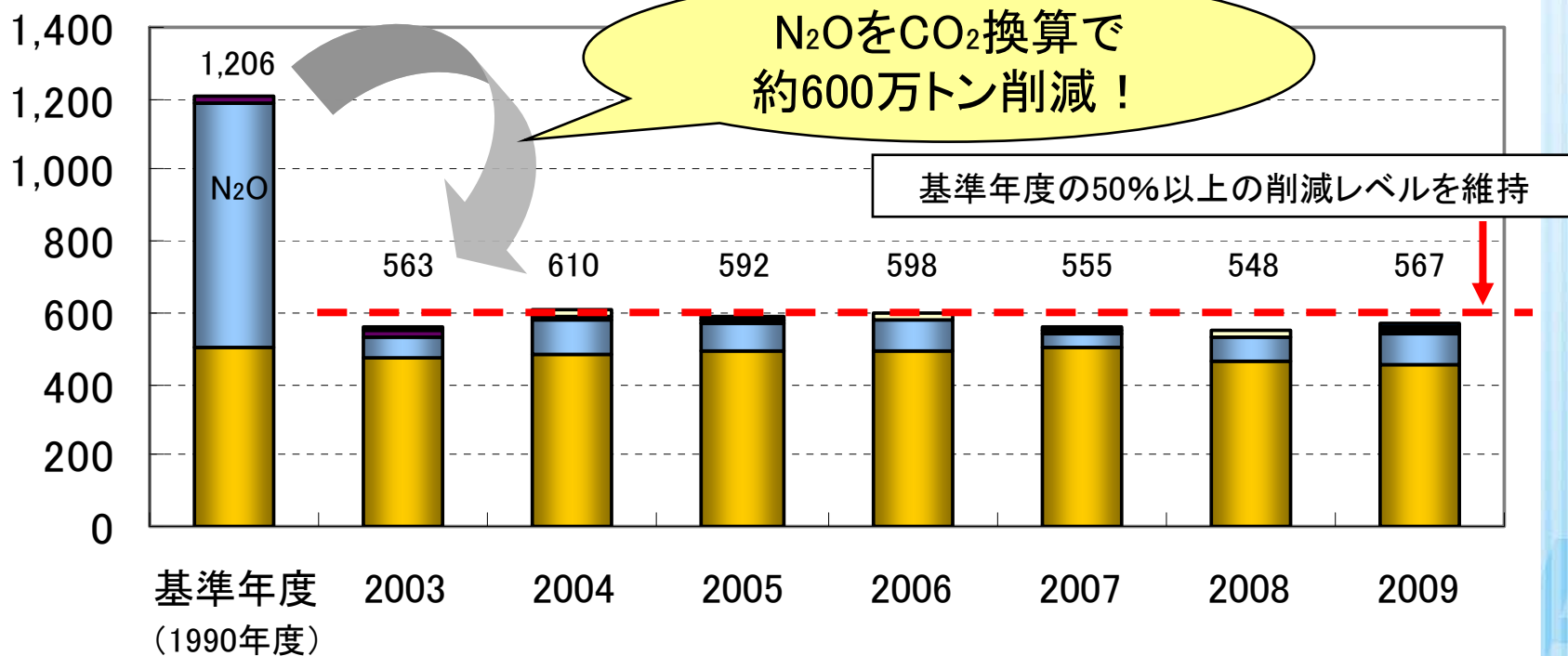
- ✓ 二酸化炭素(CO₂)を原料に使用するポリカーボネート(PC)樹脂製造技術を世界で初めて確立
→PC製造におけるCO₂排出量の削減
- ✓ 毒性の強いホスゲンを不使用、廃棄物・廃水もほとんど発生しない環境に優しいプロセス
- ✓ 省資源、省エネ生産技術
- ✓ グローバルにライセンスビジネスを展開



アジピン酸*温室効果ガス削減技術

- ✓ アジピン酸の生産プロセスから発生する温室効果ガスN₂O（亜酸化窒素）を分解除去する装置を独自開発し、1999年より稼動、グループ全体の温室効果ガス排出量を大幅に削減

旭化成グループの温室効果ガス排出量推移(万トン)(CO₂換算)



* ナイロンやウレタンの原料

- ✓ **高機能スパンデックス「ロイカ™」**
 - 世界No.3
 - 高機能・高品質ブランドをグローバルに展開
(生産拠点: 日本、台湾、中国、タイ、独国、米国)
- ✓ **再生セルロース繊維「ベンベルグ™」(キュプラ)**
 - 世界唯一のメーカー
 - 国内裏地用途から他用途・海外向けに展開、拡大
- ✓ **多様な品揃えを持つ不織布**
 - スパンボンド不織布「プレシゼ™」を中心とした拡販
- ✓ **強度・耐熱性に優れたナイロン66繊維「レオナ™」**
 - タイヤコード用途に加え、エアバッグ用途を拡大

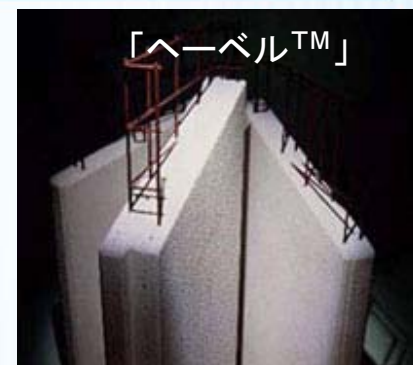


建材の主な製品

AsahiKASEI

✓ 軽量気泡コンクリート「ヘーベル™」

- ALC(軽量気泡コンクリート)国内No.1
- 耐火性、断熱性に優れ、軽量かつ高耐久の建材



✓ 断熱材「ネオマ™フォーム」

- 世界トップレベルの高い断熱性能を長期で維持
- 環境にやさしいノンフロン発泡
- 炎をあてても燃え広がらず炭化するだけの高い耐燃焼性能



✓ 基礎杭「EAZET™」・「ATTコラム™」・「DYNAWING™」

- 低騒音・低振動・低排土など環境重視型の杭工法
- 高い現場適応力と信頼性で建築分野、土木分野に展開



エレクトロニクスの主な製品

領域	製品	業界ポジション
部品	LSI	ミックスドシグナルLSIの以下の製品群で世界No.1 (TCXO*向けLSI、電子コンパス、オーディオ系デバイス)
	ホール素子(磁気センサ)	世界No.1 70%シェア
材料	ハイポア™(LiB用セパレータ)	世界No.1 50%シェア
	感光性ドライフィルムレジスト	世界トップ3の1社 30%シェア
	ガラスクロス	超極薄ガラスクロス:世界No.1
	パイメル™(半導体用バッファークコート)	感光性タイプ:世界No.1
	ペリクル(フォトマスク用防塵フィルム)	世界トップ3の1社 液晶パネル用:世界No.1
	APR™(液状感光性樹脂)、AFP™(板状感光性樹脂)	APR™:世界No.2

* 温度補償型水晶発振器

多彩な製品群を揃える電子部品事業

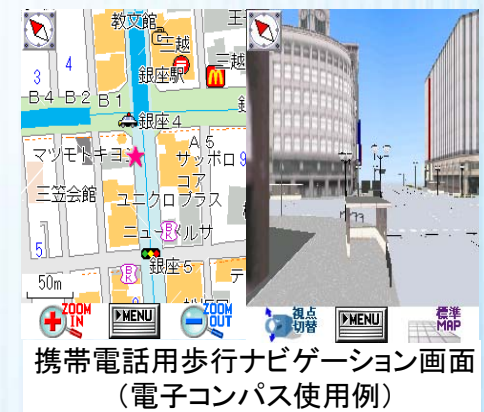
✓ アナログ・デジタル混載のミックスドシグナルLSI

- オーディオ系ミックスドシグナルLSI: 世界No.1
- 温度補償型水晶発振器用LSI: 世界No.1
- 電子コンパス: 世界No.1(世界最薄最小サイズ、スマートフォン等携帯端末の歩行ナビゲーション用に使用)
- アナログの設計に強み、逐次能力増強
- M&Aによる戦略的な事業拡大
 - ・東光(株)からの半導体事業譲受(09年4月)



✓ モーター回転制御用磁気センサ(ホール素子)

- 世界No.1、シェア70%



✓ LSIと磁気センサの複合部品

- デジタルカメラ手ぶれ補正センサ
- 電流センサの拡大

携帯電話での電子部品使用例



高い技術を活かした高機能な電子材料事業 AsahiKASEI

✓ プリント配線板用感光性ドライフィルムレジスト「サンフォート™」

- 世界トップ3の1社、シェア30%
- 中国工場増設(世界最大、年産2.8億㎡)

✓ 超極薄ガラスクロス

- 世界No.1
- 薄型電子機器用配線基盤材料

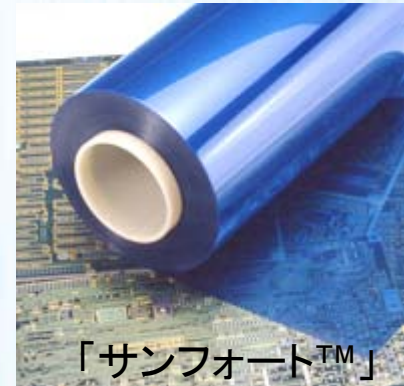
✓ 半導体用バッファークोट材「パイメル™」

- 感光性タイプ:世界No.1、アルカリ型での市場拡大

✓ フォトマスク用防じんフィルム、ペリクル*

- 世界トップ3の1社、大型液晶ディスプレイ用ではほぼ独占
- 第10世代(超大型ディスプレイ)対応ライン新設

* 液晶ディスプレイ、半導体製造時のフォトマスク用防じんフィルム



医薬事業の主な製品

AsahiKASEI

主要医薬品

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型	09年度 売上高 (億円)	10年度 売上高 (億円)
フリバス™	ナフトピジル	α1ブロッカー	前立腺肥大症に伴う排尿障害	錠剤	137	139
エルシトニン™注20S エルシトニン™注20S ディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤	140	134
ブレディニン™	ミゾリピン	免疫抑制剤	関節リウマチ、 腎移植、ネフローゼ症候群、 ループス腎炎	錠剤	65	65
リコモジュリン™	トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組 換え)	血液凝固阻止剤	DIC(汎発性血管内血液凝固 症)	注射剤	12	42
トレドミン™	ミルナシプラン塩酸 塩	セロトニン・ノルアドレ ナリン再取込阻害剤 (SNRI)	うつ病・うつ状態	錠剤	50	35
エリル™	ファスジル塩酸塩 水和物	ローキナーゼ阻害剤	くも膜下出血術後の脳血管 れん縮及びこれに伴う脳虚 血症状の改善	注射剤	14	15
ファムビル™ (マルホ㈱に販売を委託)	ファムシクロビル	抗ヘルペスウィルス 剤	帯状疱疹	錠剤	—	—

研究開発の状況

		開発コード・剤型 (一般名)	区 分	薬 効・分 類	適 応 症	備 考 (自社/導入)
国 内	申請中の品目	MN-10-T注 (テリパラチド酢酸塩)	新成分新薬	副甲状腺ホルモン: PTH	骨粗鬆症	自社
	フェーズⅢの品目	AK-120錠 (ファムシクロビル)	適応拡大	抗ヘルペスウィルス剤	単純疱疹	導入
	フェーズⅡの品目	AT-877錠 (ファスジル塩酸塩水和物)	適応拡大 剤型追加	ローキナーゼ阻害剤	肺高血圧症	自社
		AK150注 (ポリ硫酸ペントサンナトリウム)	新成分新薬	変形性関節症治療剤	変形性関節症	導入
海 外	フェーズⅡの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新成分新薬	血液凝固阻止剤	DICを伴う敗血症	自社
		AK106	新成分新薬	抗炎症剤	関節リウマチ	自社

探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科領域や泌尿器領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

医薬事業(2)



**世界初の遺伝子組み換え型
トロンボモジュリン製剤**

[効果]

悪性腫瘍、感染症などに高頻度に合併して発症する「汎発性血管内血液凝固症(DIC)」

[患者数]

国内7万人強

週1回の投与で骨折抑制、骨量増加をもたらす骨粗鬆症薬(2011年承認見込み)

[患者数]

潜在患者含め、1,000万人以上

売上高
1,500億円以上

新薬をグローバルに供給

2020

ペントサン(変形性関節症)
ゾレドロン酸(骨粗鬆症)
AK106(抗炎症)
承認・発売

売上高
1,000億円規模

2015

「リコモジュリン™」
欧米+アジア
承認・発売

「ファミビル™」承認
(単純疱疹)

売上高
600億円

2011

全例調査
終了

「リコモジュリン™」
本格展開('11)

「テリボン™」
承認・発売('11)

テリボン™剤型追加

リコモジュリン™適応拡大

「リコモジュリン™」・AK106 欧米展開

「フリバス™」・「リコモジュリン™」 中韓販売基盤強化

2011

2015

2020

2新薬で2015年度
売上高300億円以上

医療事業(1)人工透析

透析医療システムの
グローバルNo.1へ

《実施済みの布石》

《2015年に向けた施策》

ネクステージ社との提携

海外での組立増設

川澄化学工業との提携

ネクステージ社組立技術の導入

45

海外販社設立

海外販社設立推進

40

(中・韓・台・トルコ)

パッケージ品の開発

35

中国組立ラインの増設

[キーアクション]

30

ドライ製品開発

- ・製品性能、商品力強化
- ・コスト競争力、為替対応力の向上
- ・販売機能の強化

(単位:百万本)

25

【海外販売量】

20

新興国を中心とした成長
市場への積極的な拡販

15

【国内販売量】

10

安定的な販売数量増

5

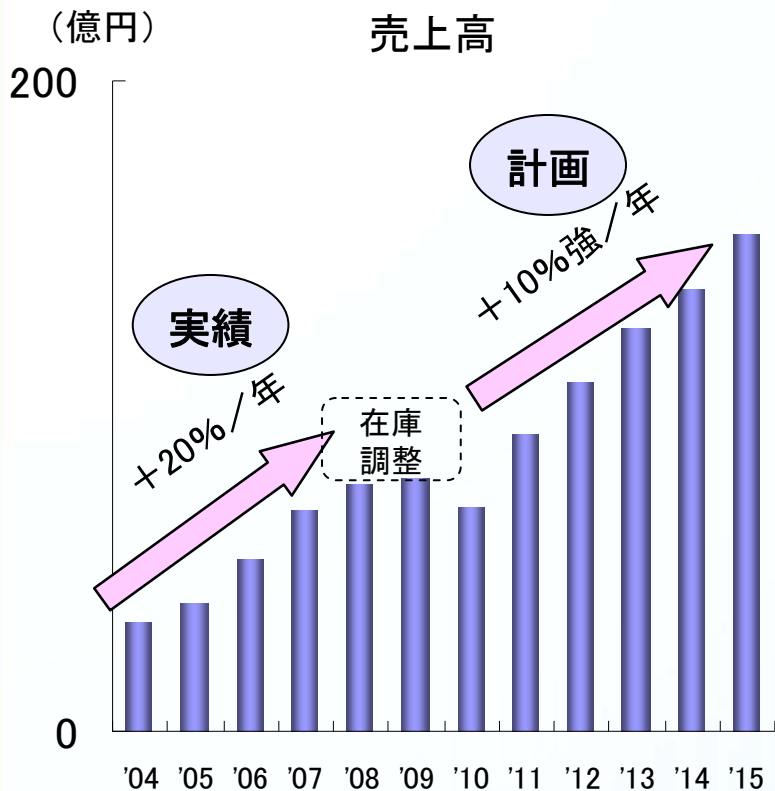
0

2010

2015



医療事業(2) ウイルス除去フィルター「プラノバ™」 AsahiKASEI



【バイオ医薬品・血しょう分画製剤市場】

- ・中長期的に年率10%以上で成長
- ・抗体医薬品・血しょう分画製剤用途を中心にバイオプロセス製品の世界需要は今後も拡大
- ・ウイルス除去規制強化、バイオ医薬品の後発品の普及
- ・新興市場の立ち上がり(中国、インド、南米)

2011年度以降、顧客在庫調整の完了、大型製剤への採用・生産開始により、再び拡大基調へ
(2011/4は過去最高売上を計上)

メイン市場の欧米に加え、中国・アジアへの展開も強化

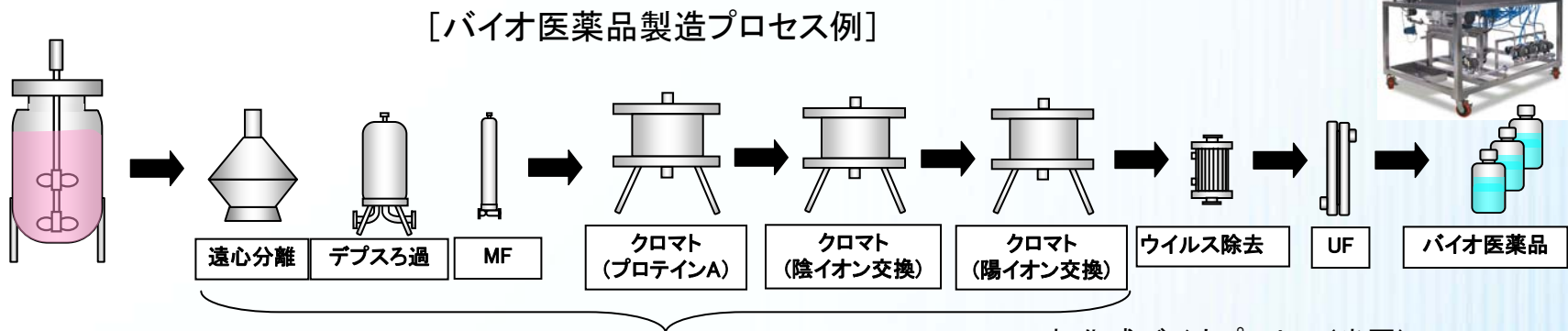
- ・中国 ……血しょう分画製剤市場拡大
- ・韓国、インド……バイオ医薬品の後続品の拡大



新製品「Planova™ BioEX」

医療事業(3) バイオプロセス事業、アフエレス事業 **AsahiKASEI**

1. バイオプロセス事業への展開



高効率バイオ医薬品の生産プロセスを提供

- ・旭化成バイオプロセス(米国)
- ・テクニカルセンター(シカゴ、ケルン)
- ・旭化成グループの膜技術
- ・社外資源取り込み[M&A]

多様なニーズに対応する品揃え
海外TS要員の拡充
他社提携、M&A

2. アフエレス事業の拡大

医薬品で満たされていない
メディカルニーズ

← 引き算の治療
(アフエレス)

パッケージ化
用途開発、治療法普及
中国・欧州への展開

- | 適用例 |
|-----------------|
| 老廃物の除去 (腹水) |
| ウイルスの除去 (C型肝炎) |
| 白血球の除去 (潰瘍性大腸炎) |
| 血液粘度引下げ (動脈硬化症) |

ホームページのご案内

＜株主・投資家情報のページをご活用ください＞

AsahiKASEI 旭化成株式会社

ホーム ニュース 会社案内 CSR 株主・投資家情報 サイトマップ

ホーム > 株主・投資家情報

株主・投資家情報

- 株主・投資家情報トップ
- IRカレンダー
- IRニュース
- 個人投資家の皆様へ
- 経営情報
- IRイベント資料
- IR資料室
- 株式関連情報
- 電子公告
- よくあるご質問
- 免責事項
- ディスクロージャーポリシー

中期経営計画
For Tomorrow 2015
代表取締役社長 藤原 健嗣

- 決算短信
更新日: 2011年 08月02日
- 決算補足資料 (音声・要旨)
更新日: 2011年 08月02日
- 海外IR・カンファレンス資料
更新日: 2011年 06月06日
- 個人投資家説明会
公開日: 2010年 12月21日

新着情報

日付	種別	内容
2011年08月05日	IR	2011年7月 ホームズ諸負担住宅受注速報
2011年08月02日	IR	2012年3月期(第121期)第1四半期決算説明会(2011年8月2日 Windows media) テキスト版要旨
2011年08月02日	IR	決算のポイントを更新しました
2011年08月02日	IR	2012年3月期(第121期)第1四半期決算説明補足資料
2011年08月02日	IR	2012年3月期(第121期)第1四半期決算短信(連結)

<http://www.asahi-kasei.co.jp/asahi/jp/ir/>